兵庫県尼崎市における
公園立地の変遷と評価に関する研究

緑地計画学　森川遥貴

尼崎市緑のマスタープラン調査報告書(1977) 都市計画協会

研究の背景及び目的

研究背景

- 住区基幹公園は、近隣住区論に基づく配置基準により量的整備が進められてきたが、その整備状況は必ずしも体系的ではない。

⇩

立地の再編が議論となっている

- 中核市は、大都市と比べて財源が限られており、住区基幹公園等の小規模公園の整備が中心となっている。

研究目的

- 阪神間に位置する中核市の尼崎市を事例に公園整備の変遷を捉えること
- 公園配置の指標の一つである誘致距離の観点から公園立地の到達点と課題を評価すること

公園整備の変遷：調査方法

調査項目

- 公園整備に関する主な出来事
- 1950～2020年末の都市公園等の
  - 整備箇所数
  - 整備面積
  - 整備に係る事業手法

使用文献

- 尼崎市の公園(2021)
  発行：榎本 利明 [尼崎市みどり課 初代課長]
  協力：尼崎市公園維持課
- 尼崎市の公開情報
- 公園計画に関する資料

使用ソフト

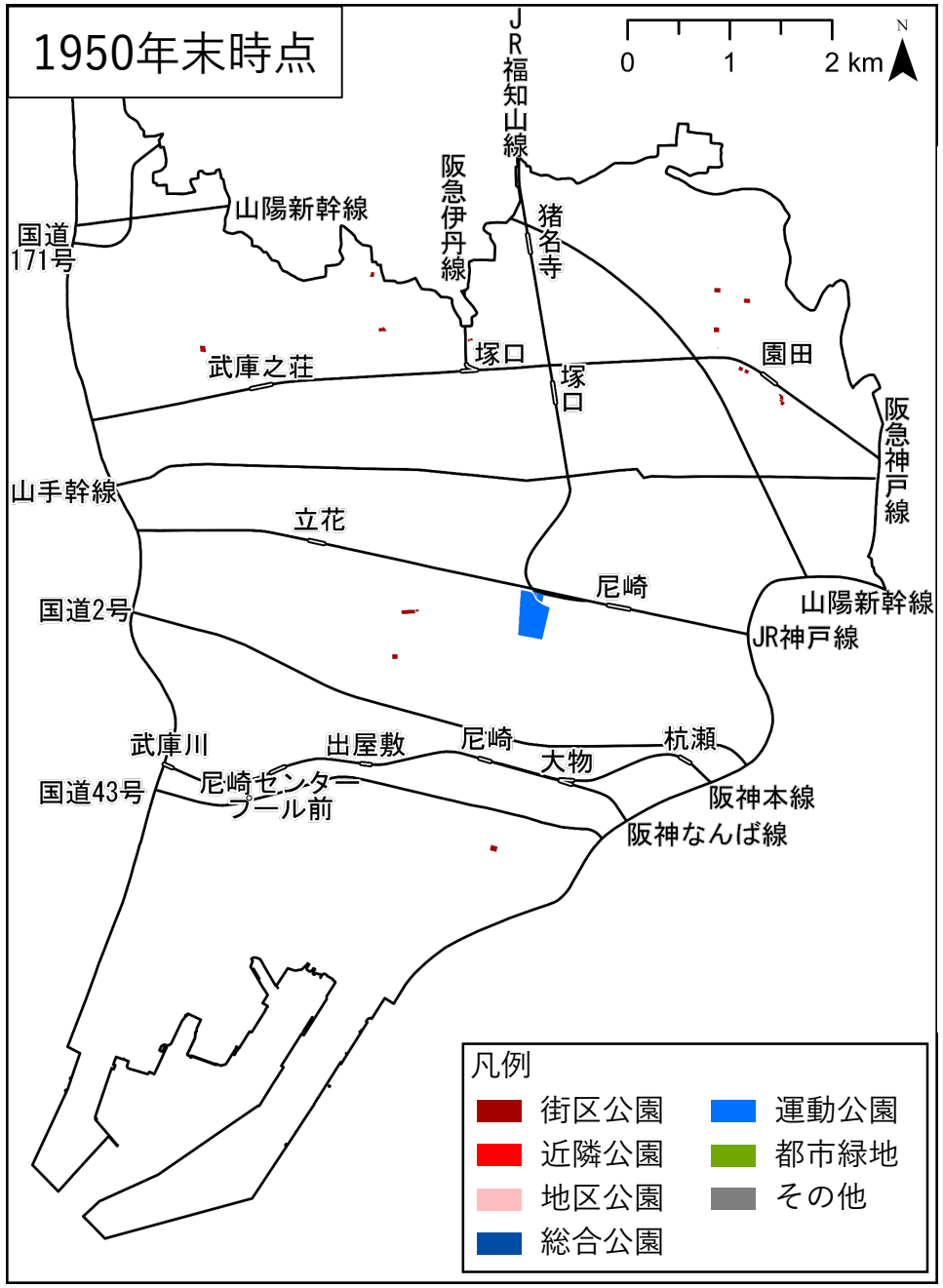
ArcGIS Pro 3.2.1

GISデータ

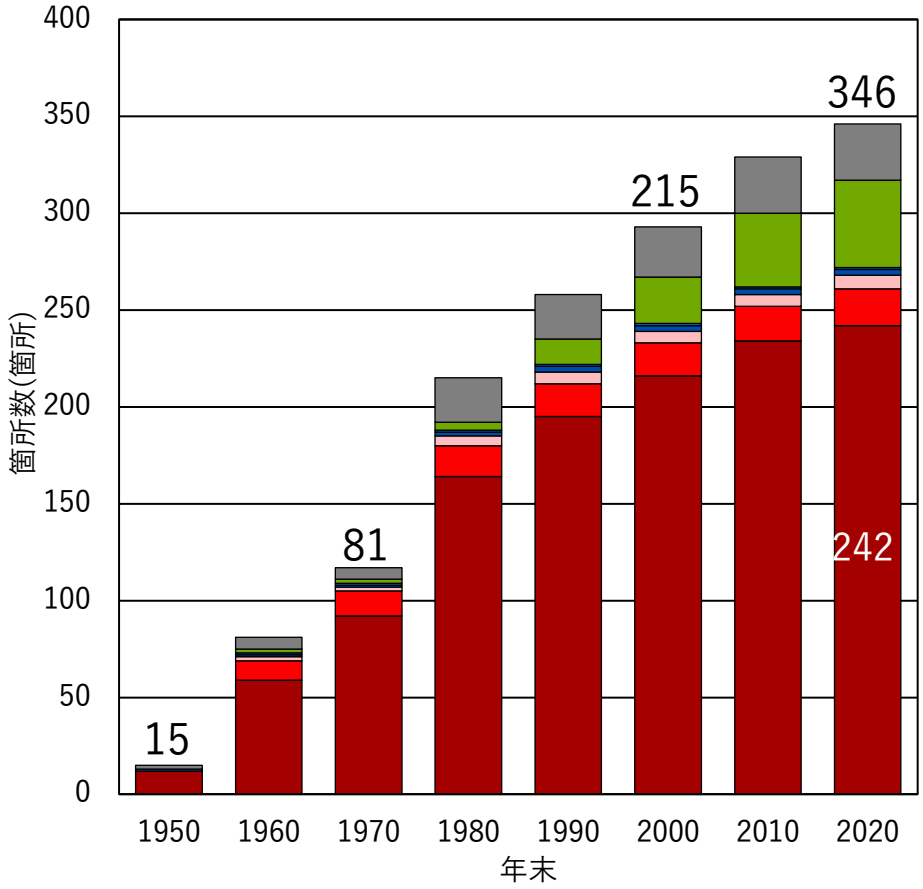
項目	データ名	発行年	発行主体
行政区域	国土数値情報 行政区域 第3.1版	2023	国土交通省
主要道路	国土数値情報 重要物流道路 第1.1版	2021	国土交通省
鉄道	国土数値情報 鉄道 第3.1版	2022	国土交通省
駅	国土数値情報 鉄道 第3.1版	2022	国土交通省
人口	国勢調査	1950~2020	総務省統計局
都市公園	尼崎市都市公園GISデータ（位置情報、属性情報）	2022	尼崎市

※都市公園GISデータの提供：尼崎市 土木部 公園計画･21世紀の森担当

公園整備の変遷：整備箇所数の推移

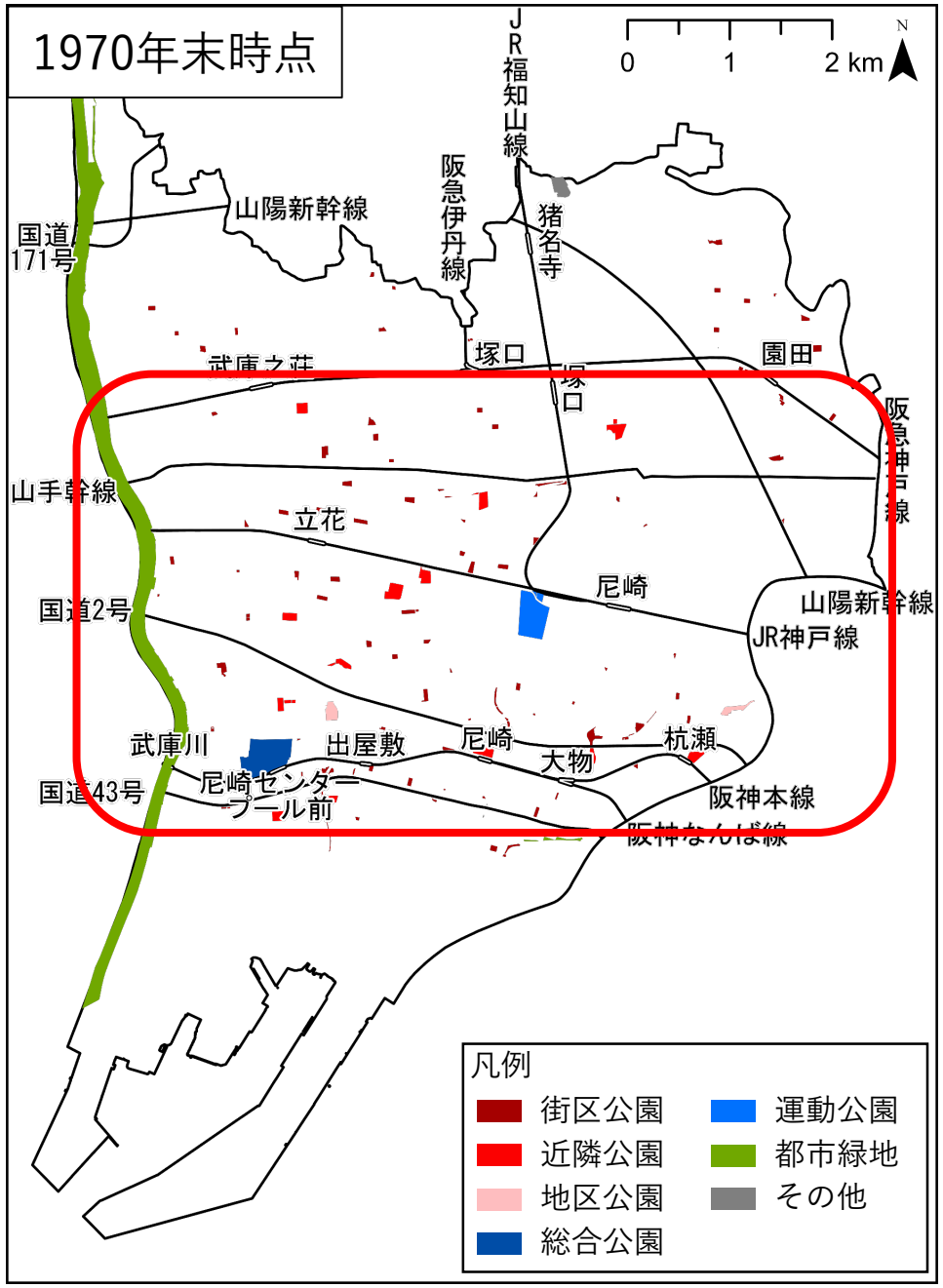


公園種別ごとの箇所数

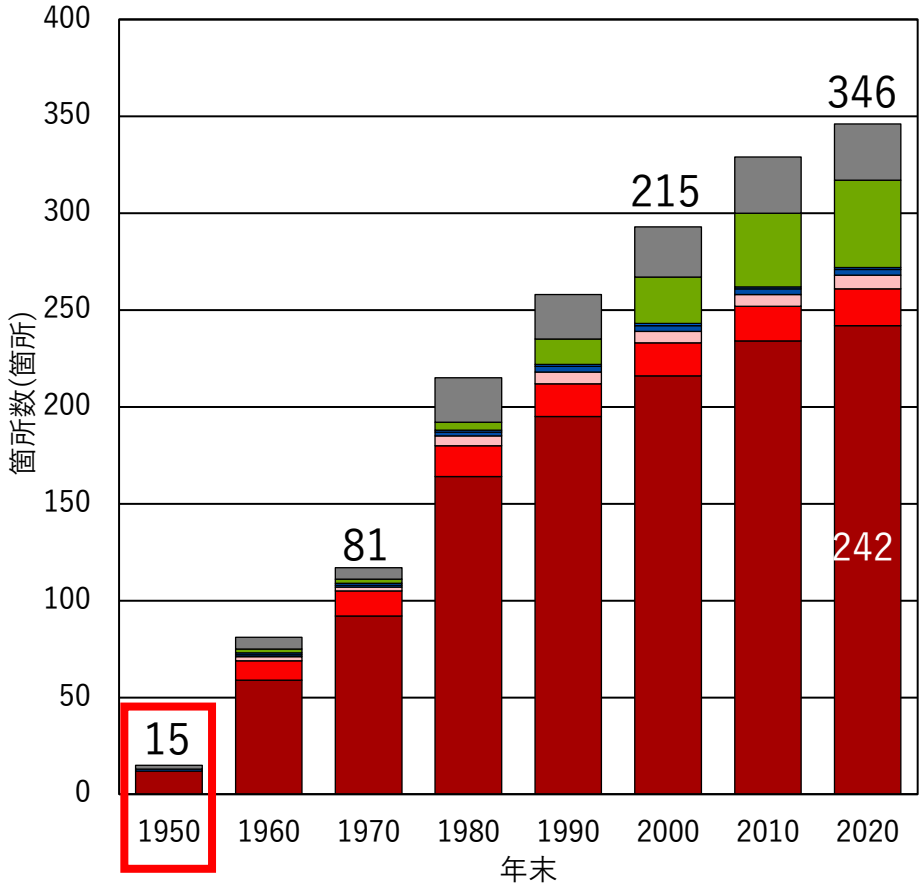


2020年末時点の都市公園等
総面積：205.2 ha
一人当たり公園面積：4.5 m^2/人

公園整備の変遷：整備箇所数の推移

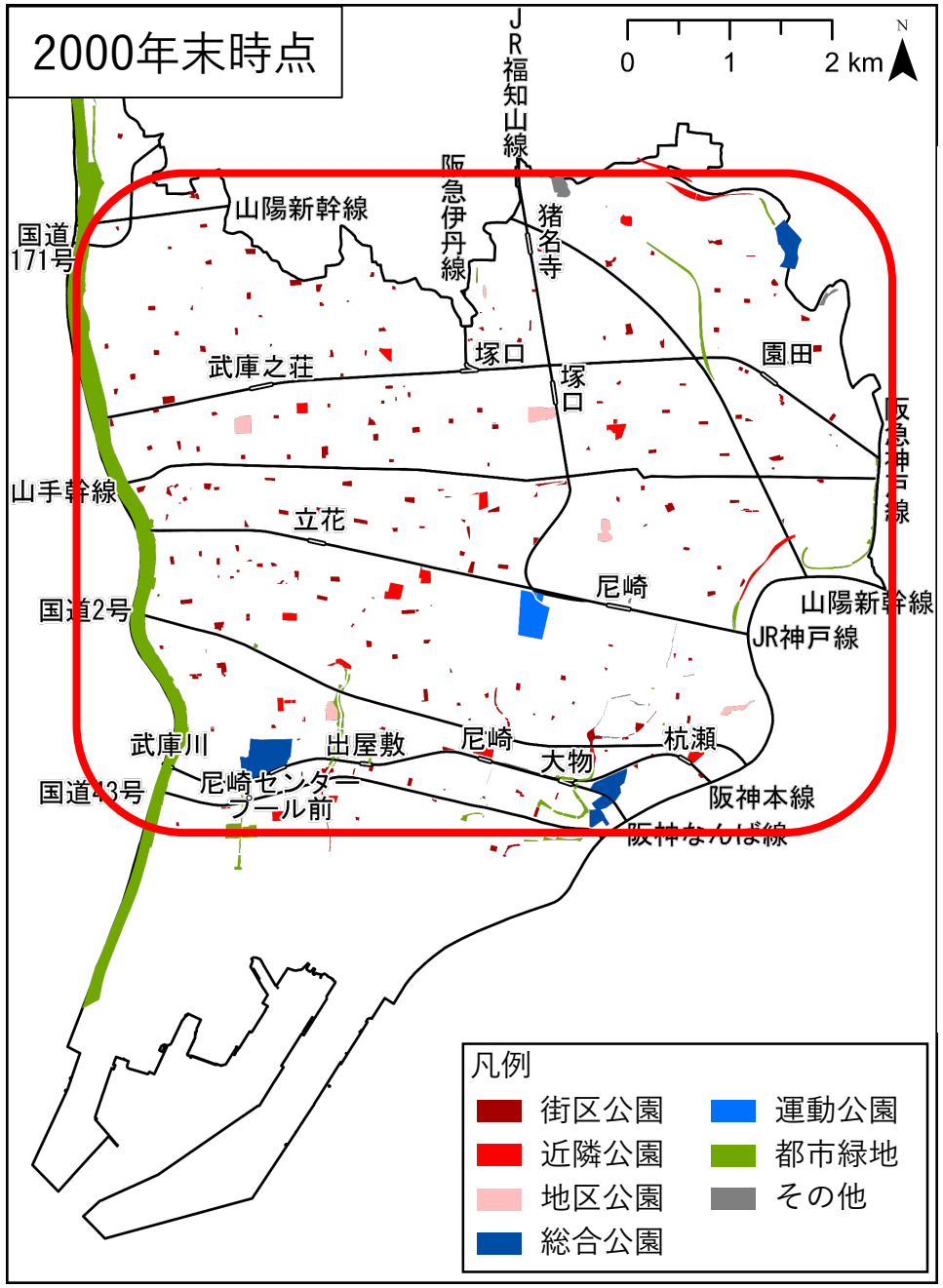


公園種別ごとの箇所数

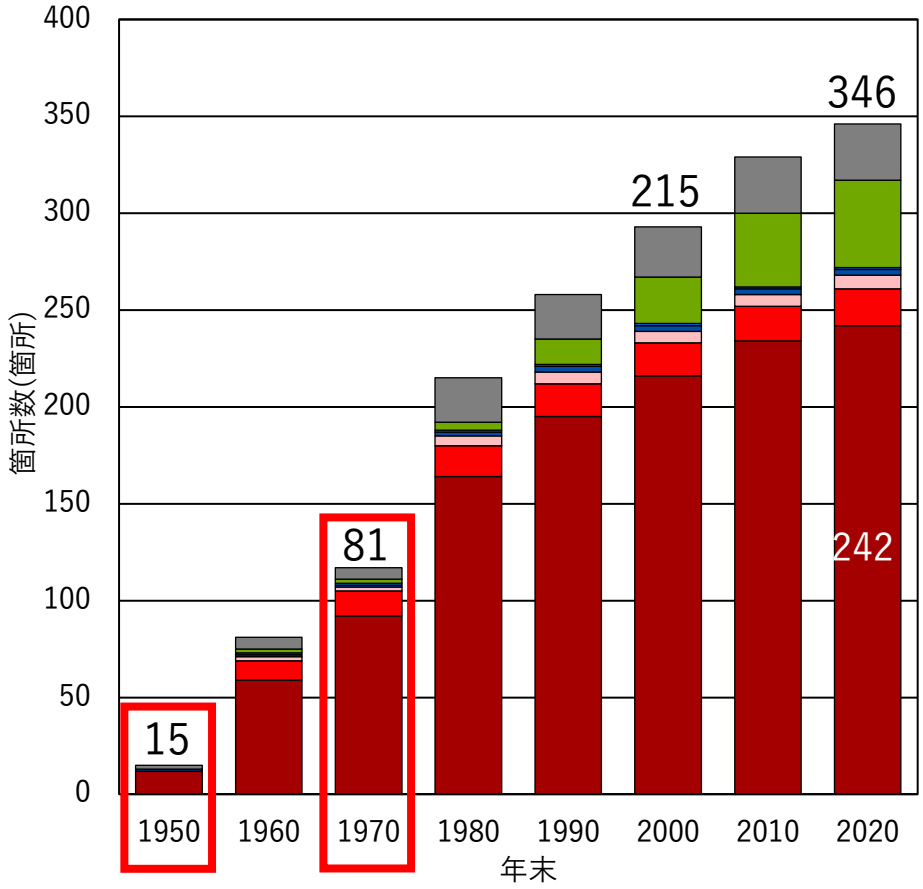


2020年末時点の都市公園等
総面積：205.2 ha
一人当たり公園面積：4.5 m²/人

公園整備の変遷：整備箇所数の推移

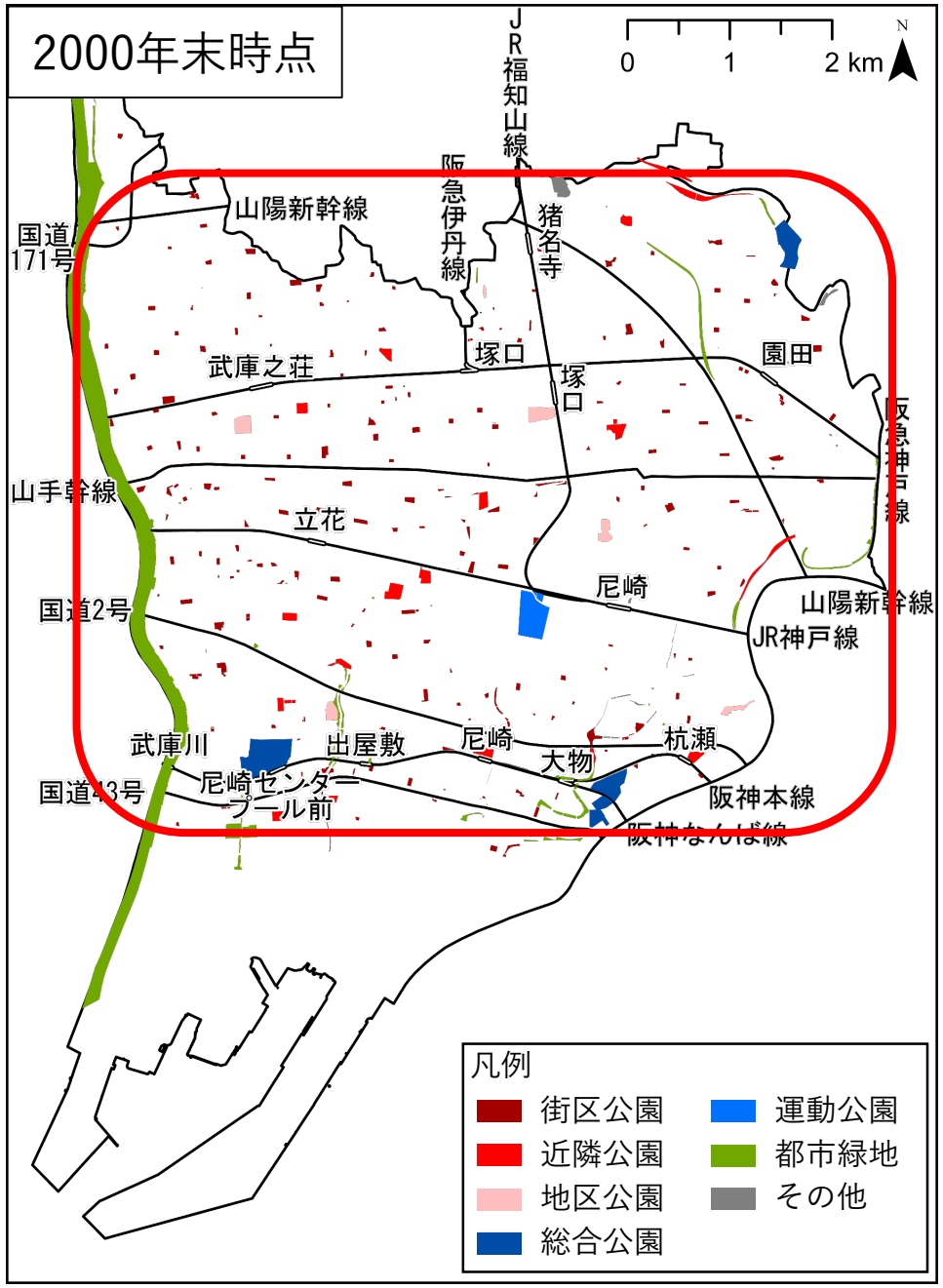


公園種別ごとの箇所数

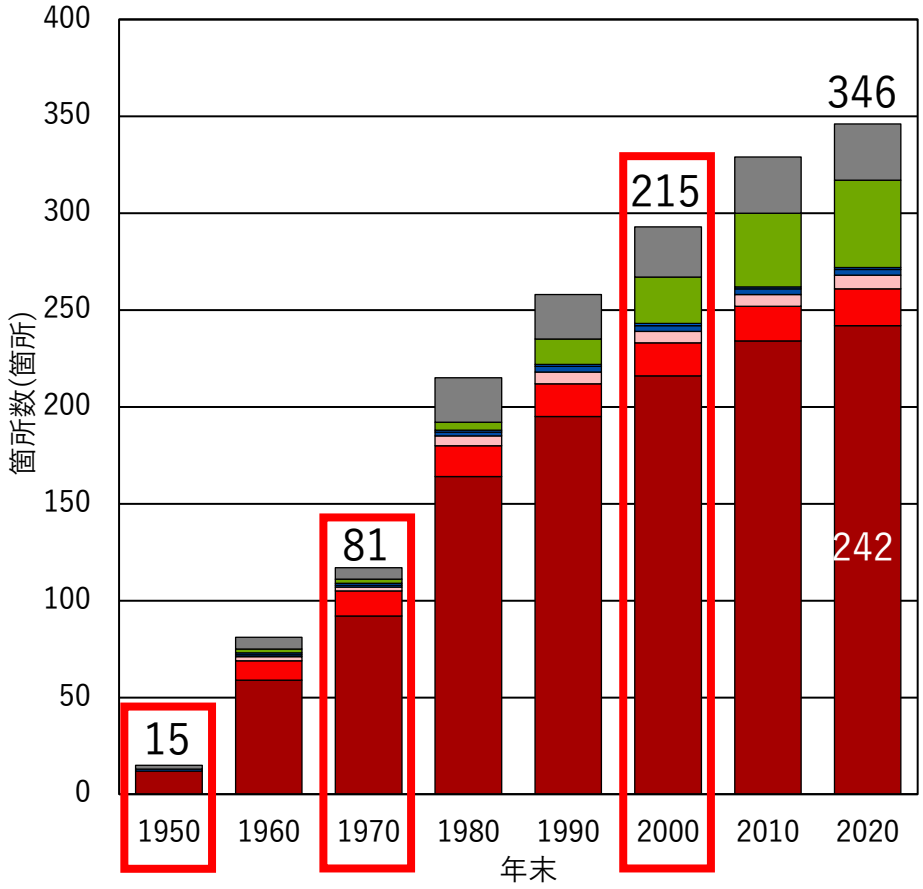


2020年末時点の都市公園等
総面積：205.2 ha
一人当たり公園面積：4.5 m^2/人

公園整備の変遷：整備箇所数の推移

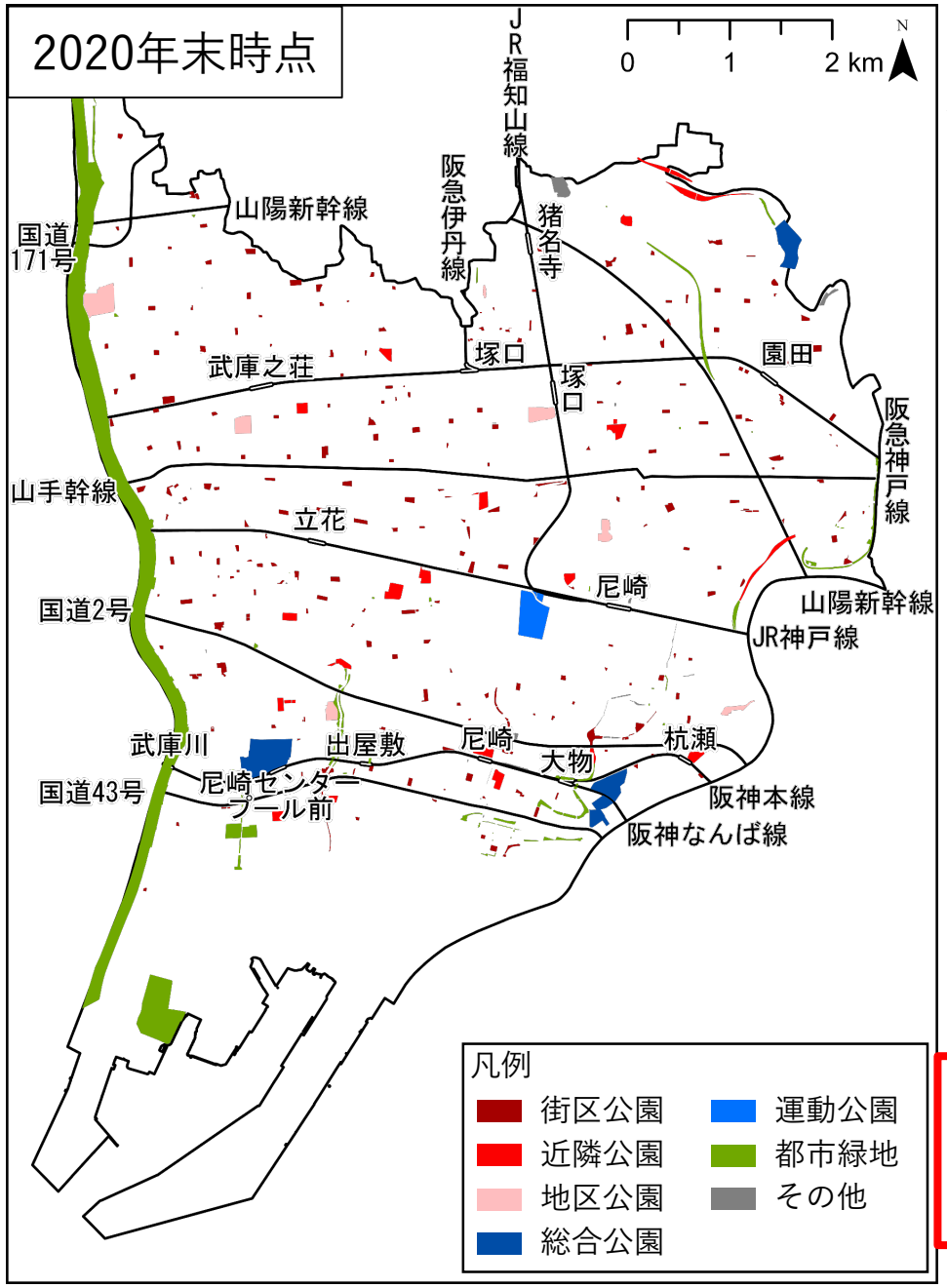


公園種別ごとの箇所数

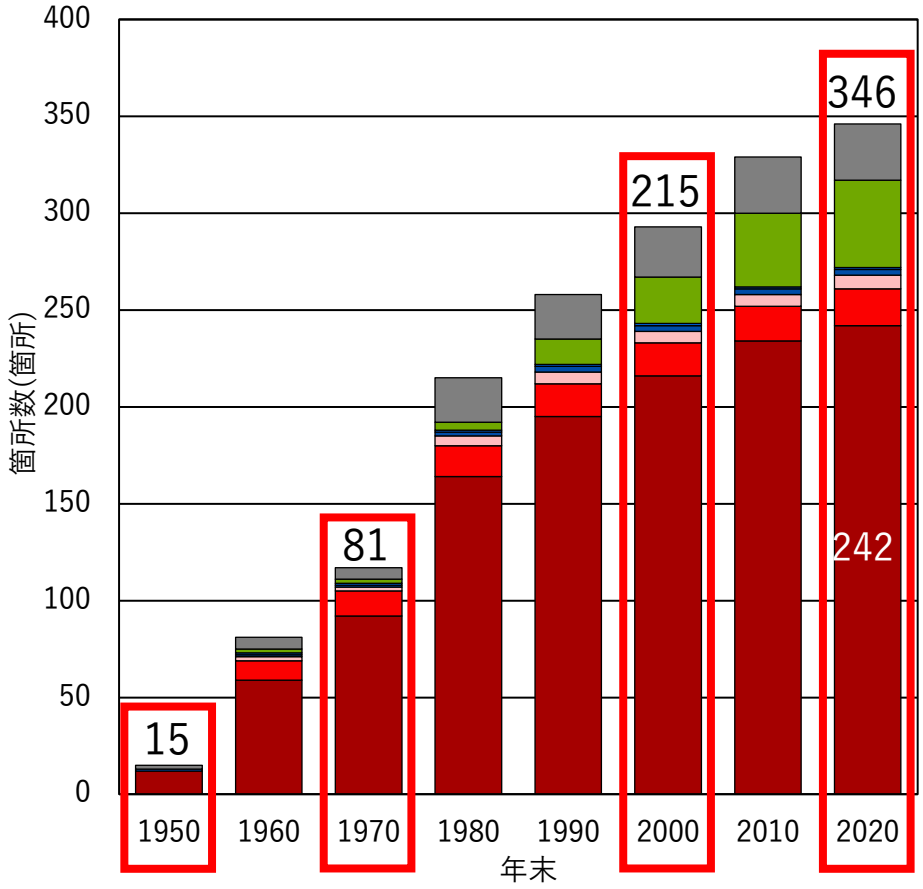


2020年末時点の都市公園等
総面積：205.2 ha
一人当たり公園面積：4.5 m²/人

公園整備の変遷：整備箇所数の推移



公園種別ごとの箇所数



2020年末時点の都市公園等
総面積：205.2 ha
一人当たり公園面積：4.5 m²/人

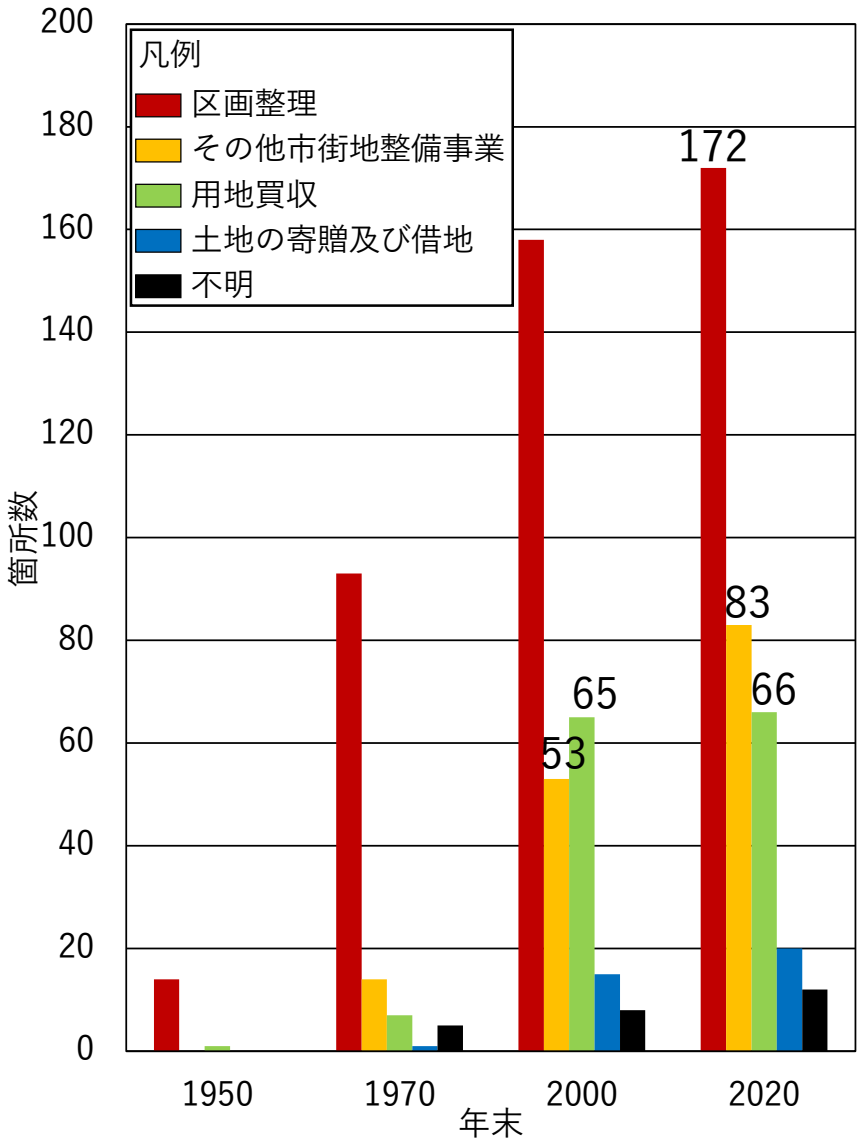
公園整備の変遷：整備手法の推移

書籍『尼崎市の公園』から全公園の整備に係る事業手法を4種に分類

整備に係る事業手法の分類

分類	具体例
区画整理	震災復興の土地区画整理事業 省線以南土地区画整理事業 阪急園田第一土地区画整理事業
その他市街地整備事業	国道43号線建設計画で生じた残地 市民プール建設事業 富田北住宅開発
用地買収	市民の要望による用地買収 ユニチカ大物工場跡地の用地買収 市政70周年に関西電力より用地買収
土地の寄贈及び借地	財務省からの無償貸し付け 兵庫県の河川改修を経て尼崎市が整備、占用 郡是製糸からの用地寄付
不明	

整備手法毎の公園箇所数の変遷



誘致圏の観点から見た公園立地の到達点と課題の方法

都市公園法運用指針

住区基幹公園の配置基準は、地域の実情を勘案して、各都市の条例で定めることが望ましい

中核市

公園整備量が少なく、身近な公園という独自の定義を用いて、公園種別を問わずに身近な公園の何れかに到達できることを指標とすることが多い

調査対象

尼崎市の身近な公園：

街区・近隣・地区・総合公園

調査項目

身近な公園(誘致距離250m)の

- 誘致圏の圏内・圏外とその重複
- 誘致圏の重複4以上の地域での公園の種別・整備手法
- 誘致圏と以下の3要素との関係
  - 居住状況(用途地域、人口密度)
  - アクセシビリティ
  - 利用機能(遊び・やすらぐ・広場)

使用ソフト

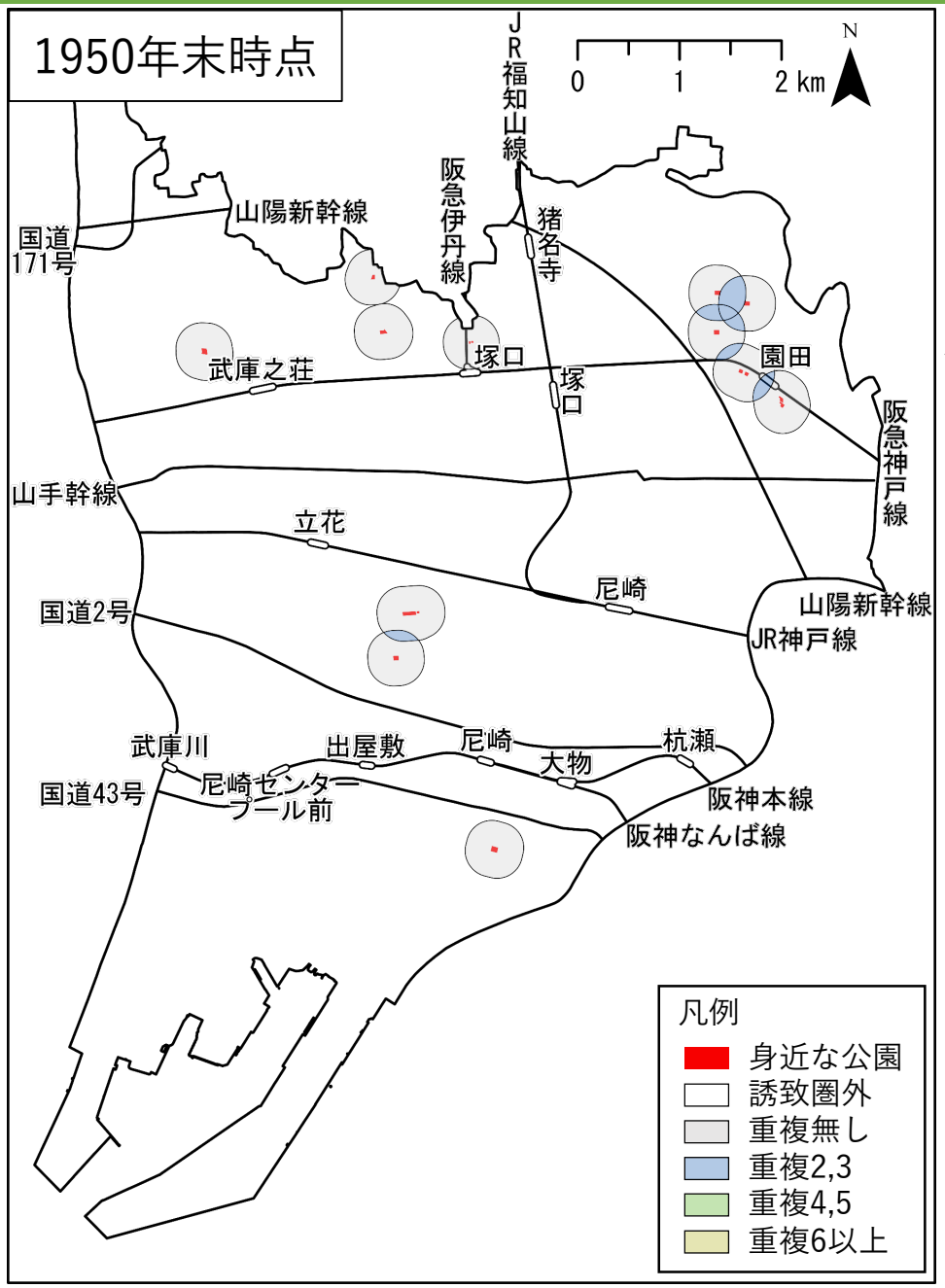
ArcGIS Pro 3.2.1

GISデータ

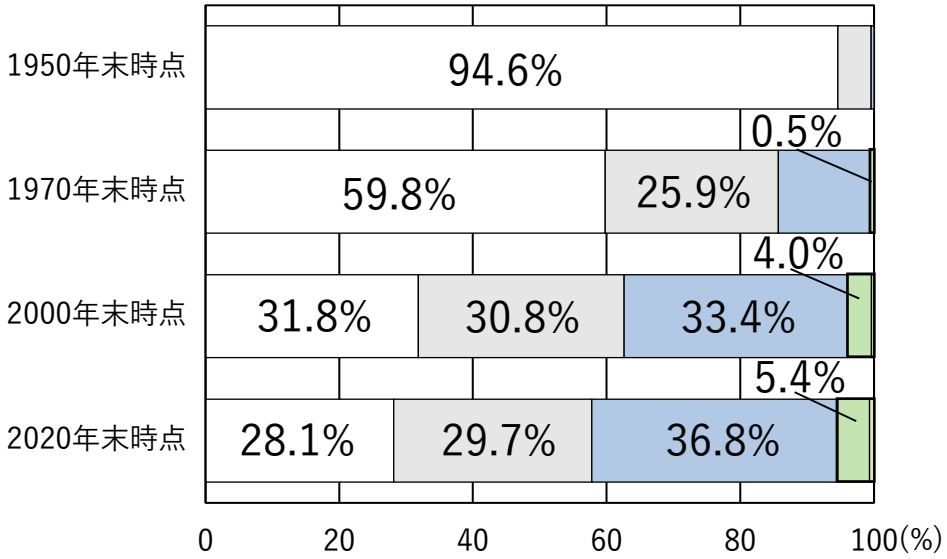
項目	データ名	発行年	発行主体
行政区域	国土数値情報 行政区域 第3.1版	2023	国土交通省
主要道路	国土数値情報 重要物流道路 第1.1版	2021	国土交通省
鉄道	国土数値情報 鉄道 第3.1版	2022	国土交通省
駅	国土数値情報 鉄道 第3.1版	2022	国土交通省
都市公園	尼崎市都市公園GISデータ(位置情報、属性情報)	2022	尼崎市
用途地域	国土数値情報 用途地域 第2.1版	2019	国土交通省
人口	国勢調査2020 小地域(基本単位区)	2022	総務省統計局
道路網	ベクトルタイル提供実験(地図情報(道路中心線))	2015	国土地理院

※都市公園GISデータの提供：尼崎市 土木部 公園計画・21世紀の森担当

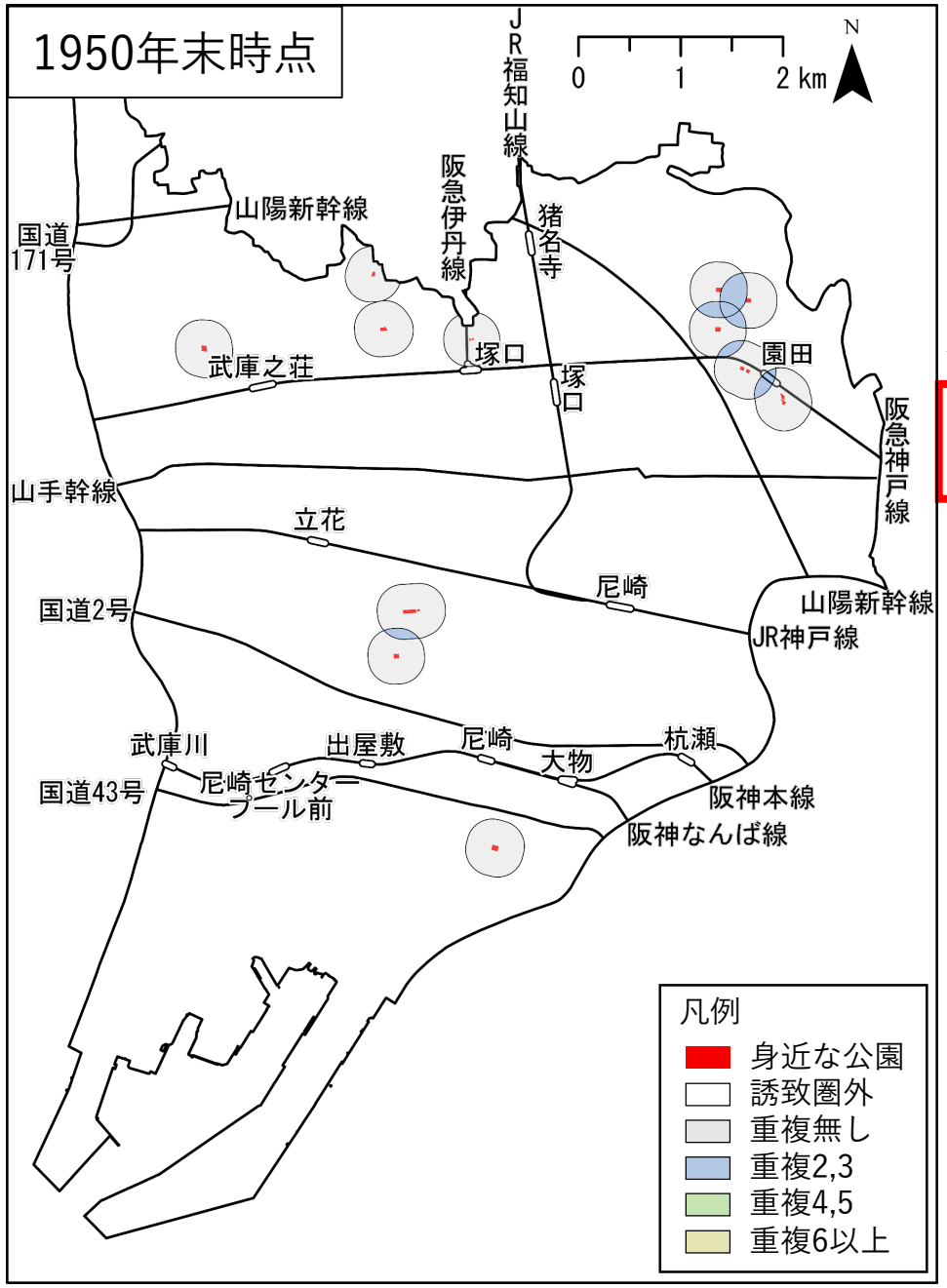
誘致圏の圏内・圏外とその重複



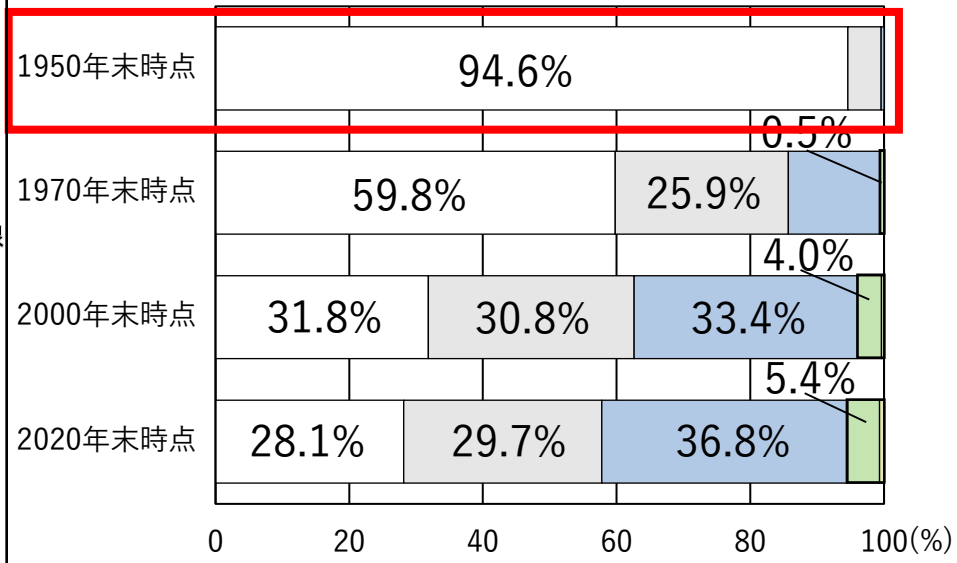
各時点における重複毎の面積割合



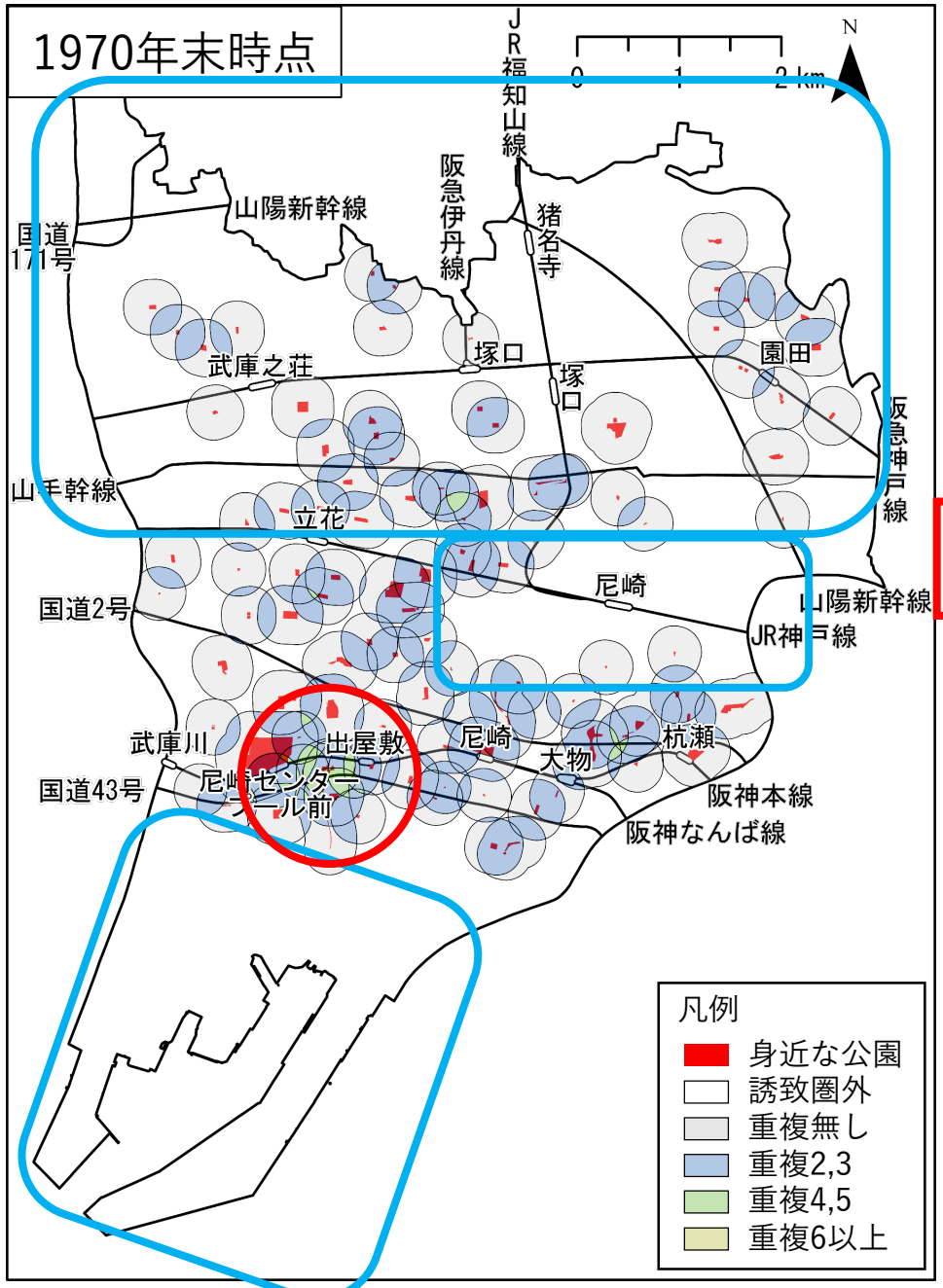
誘致圏の圏内・圏外とその重複

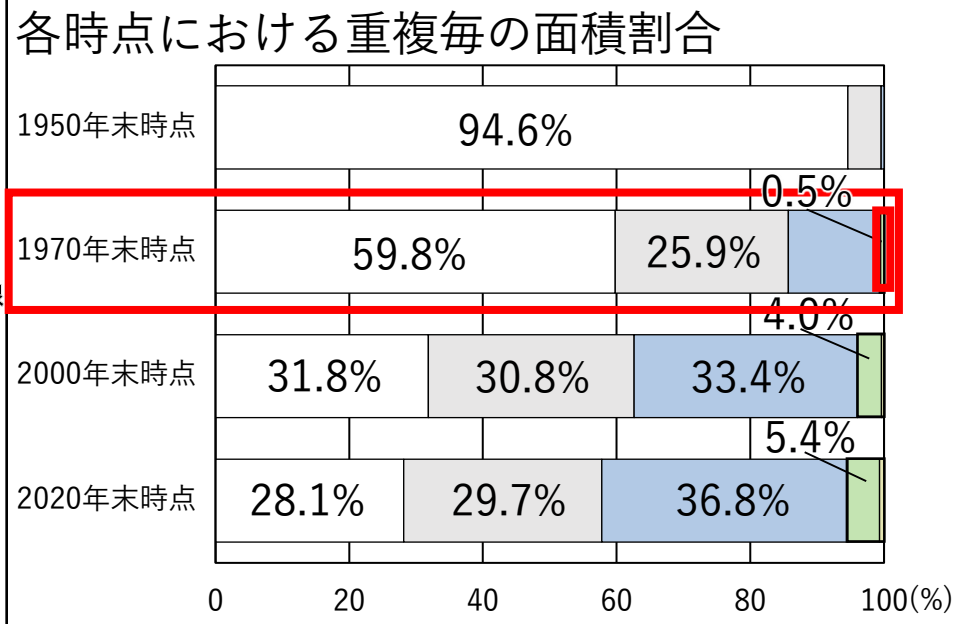


各時点における重複毎の面積割合

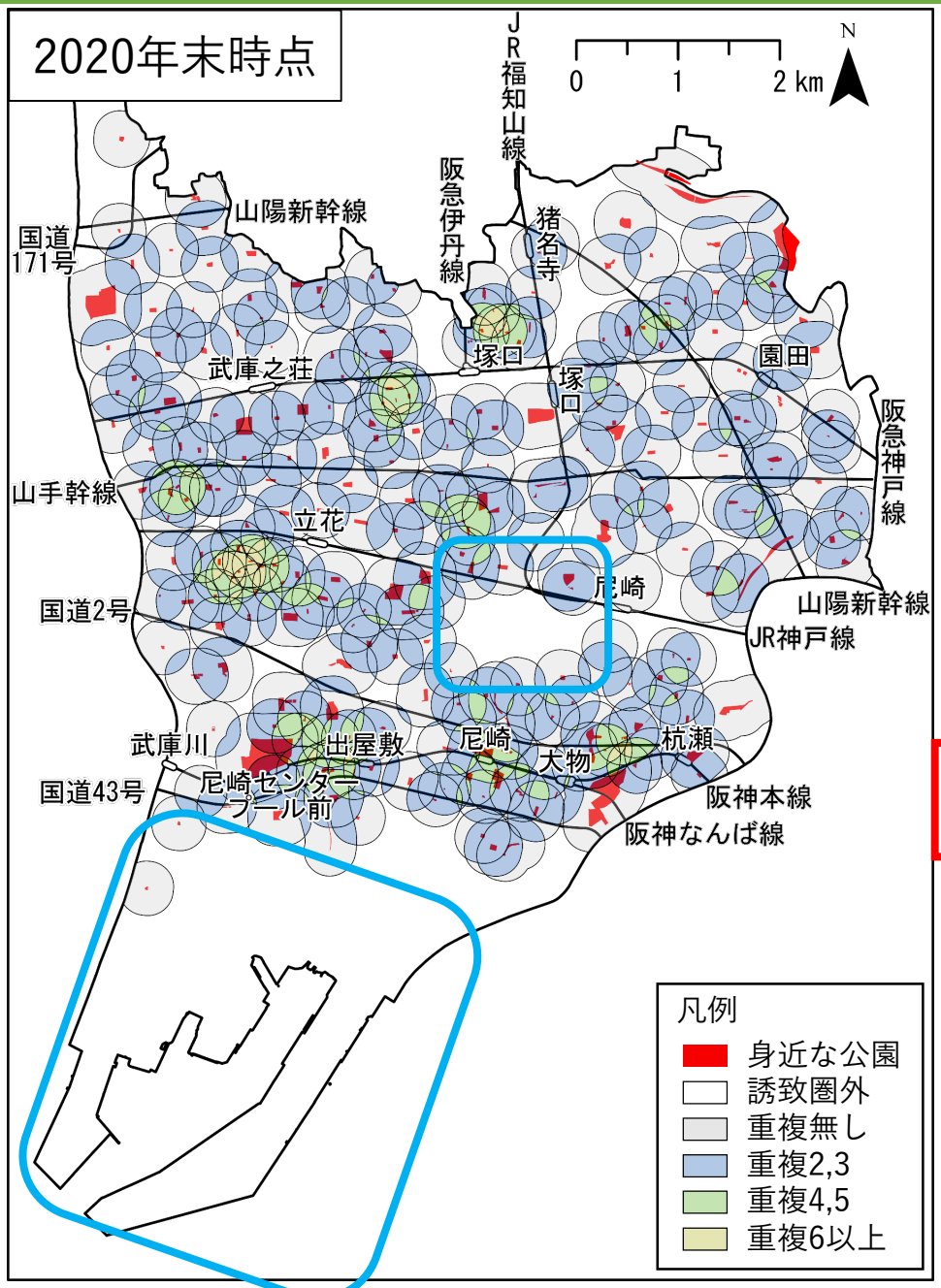


誘致圏の圏内･圏外とその重複

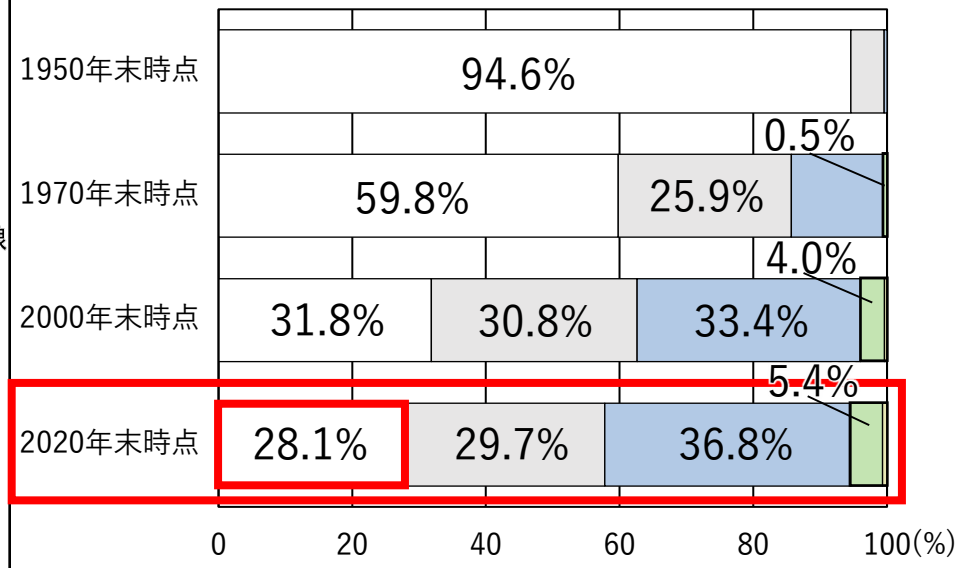




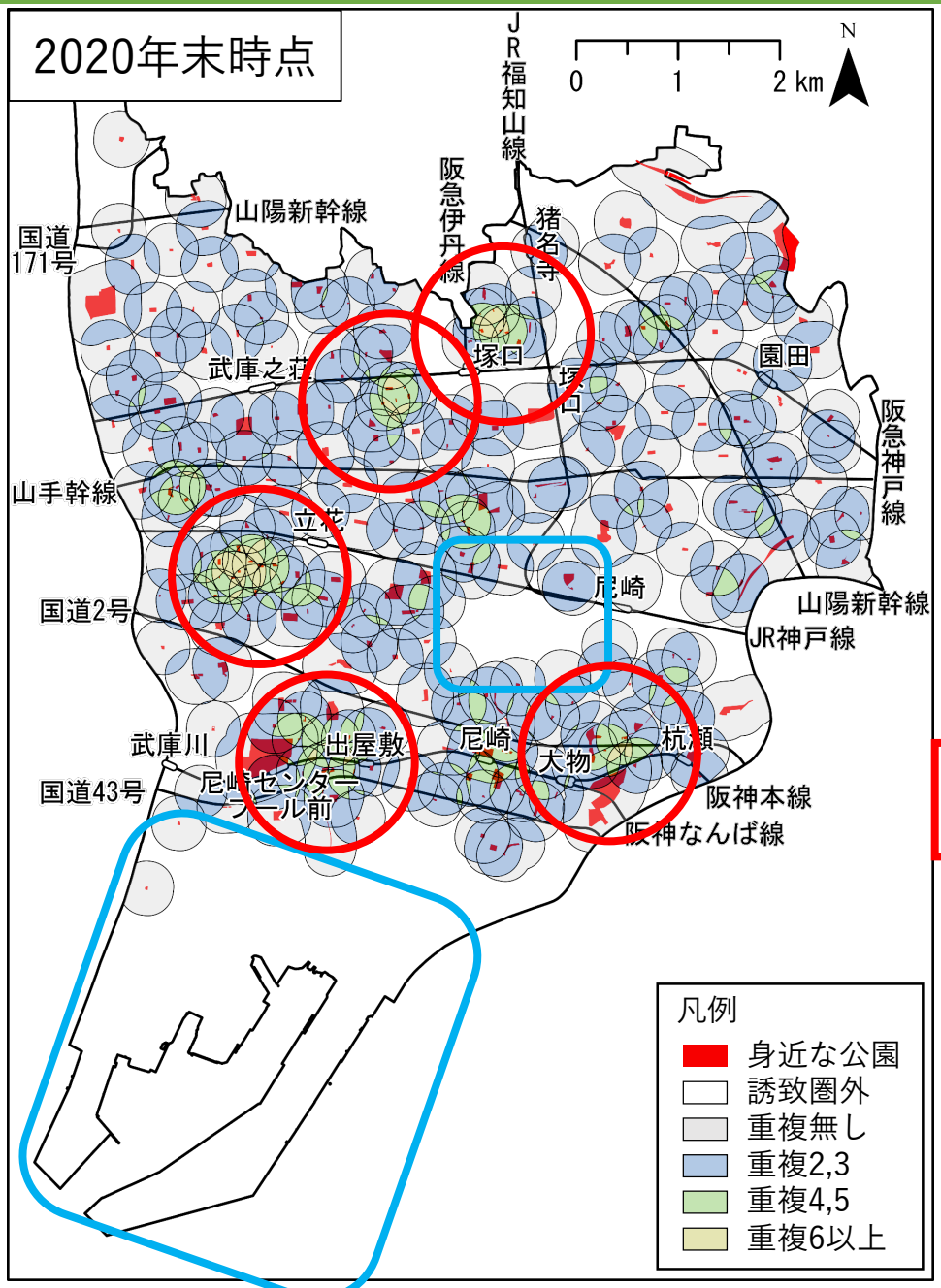
誘致圏の圏内・圏外とその重複



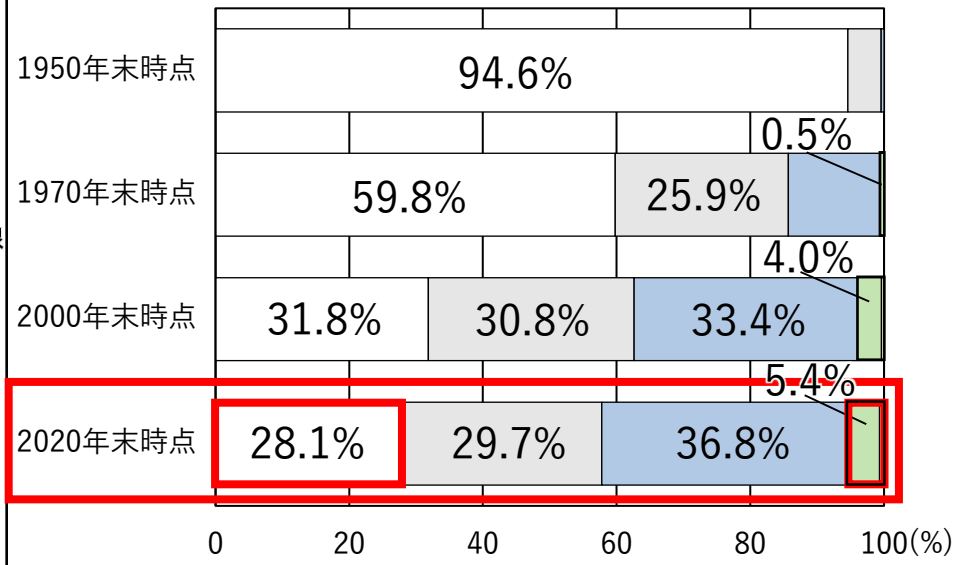
各時点における重複毎の面積割合



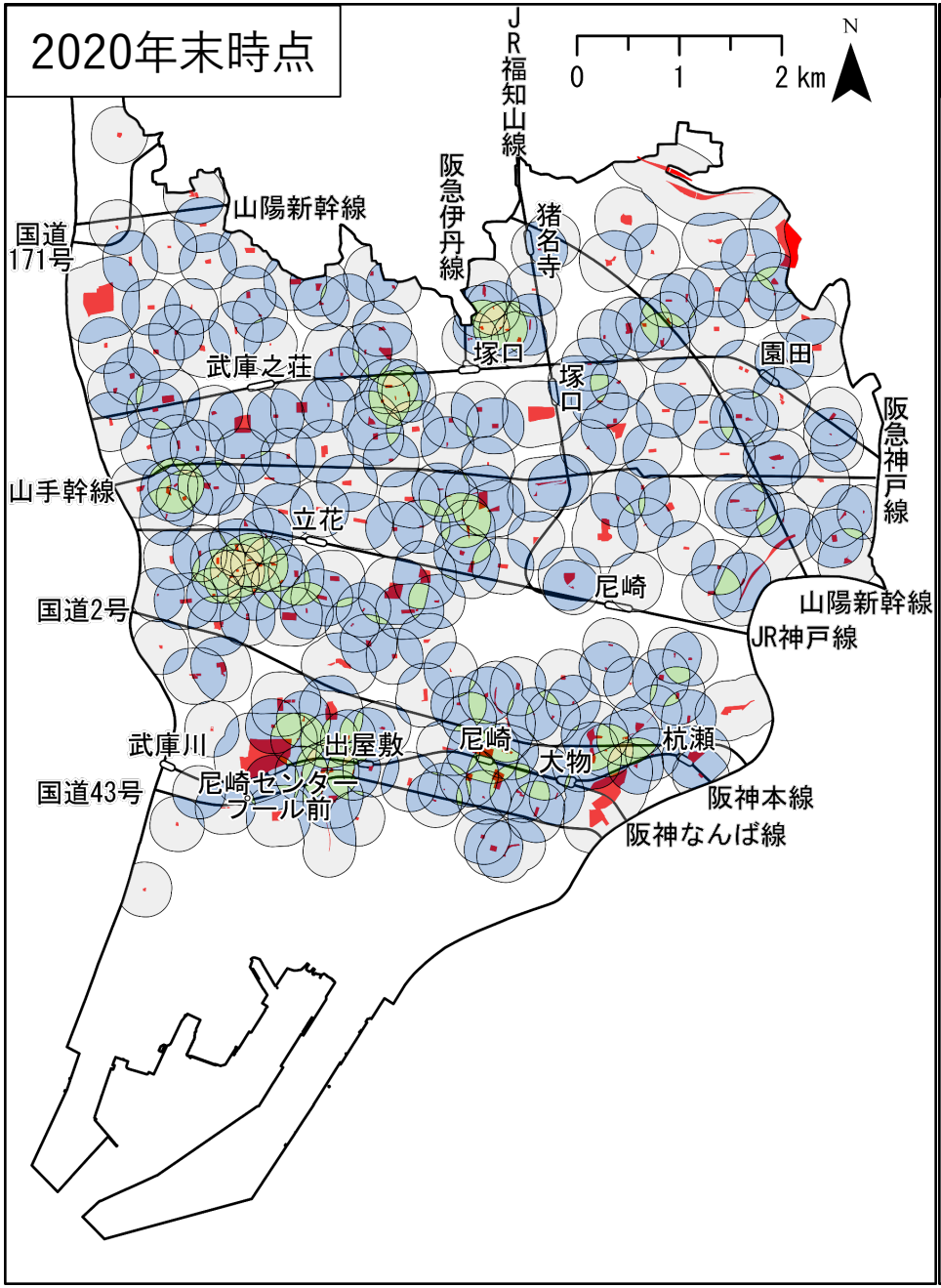
誘致圏の圏内・圏外とその重複

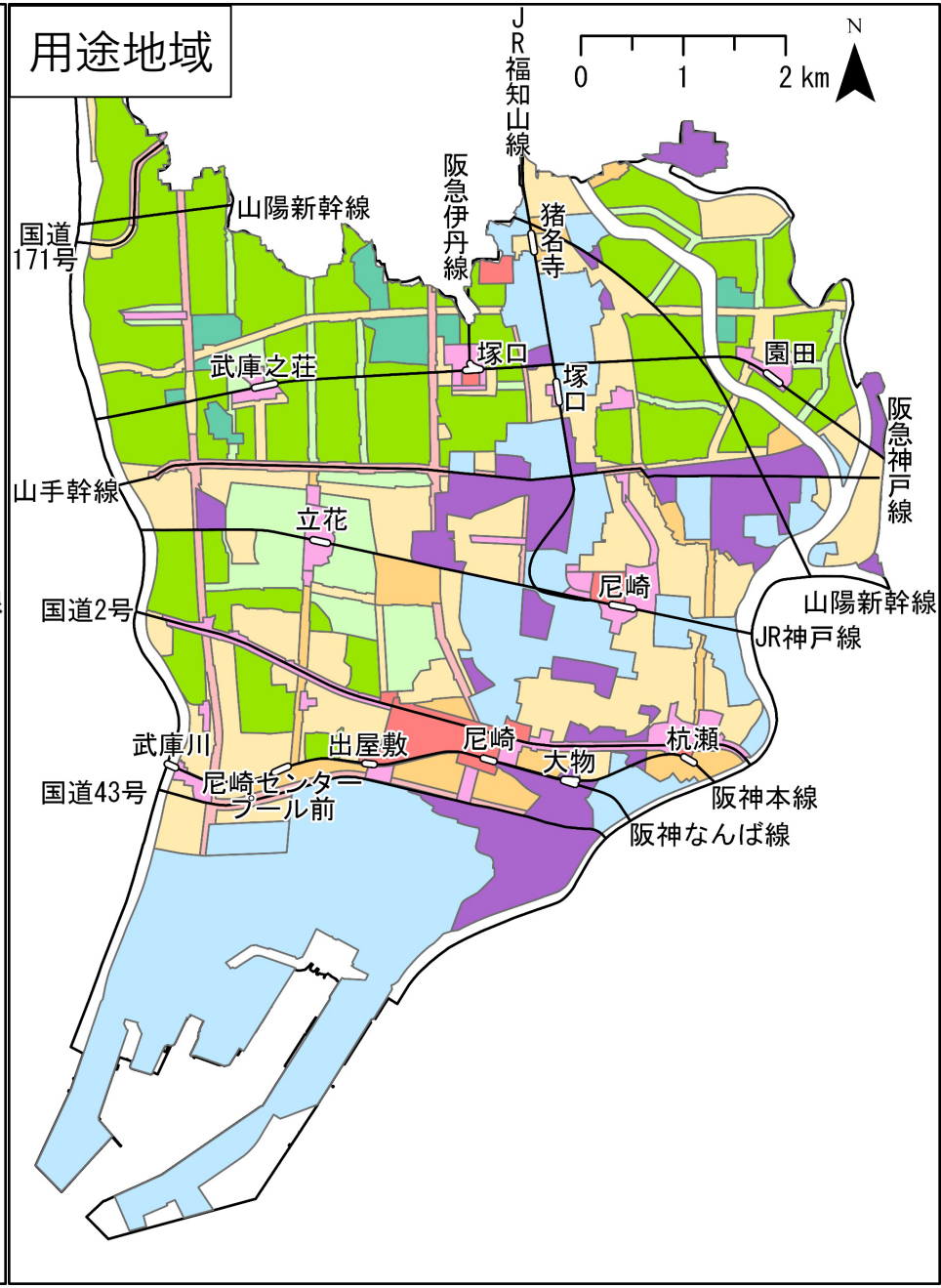


各時点における重複毎の面積割合

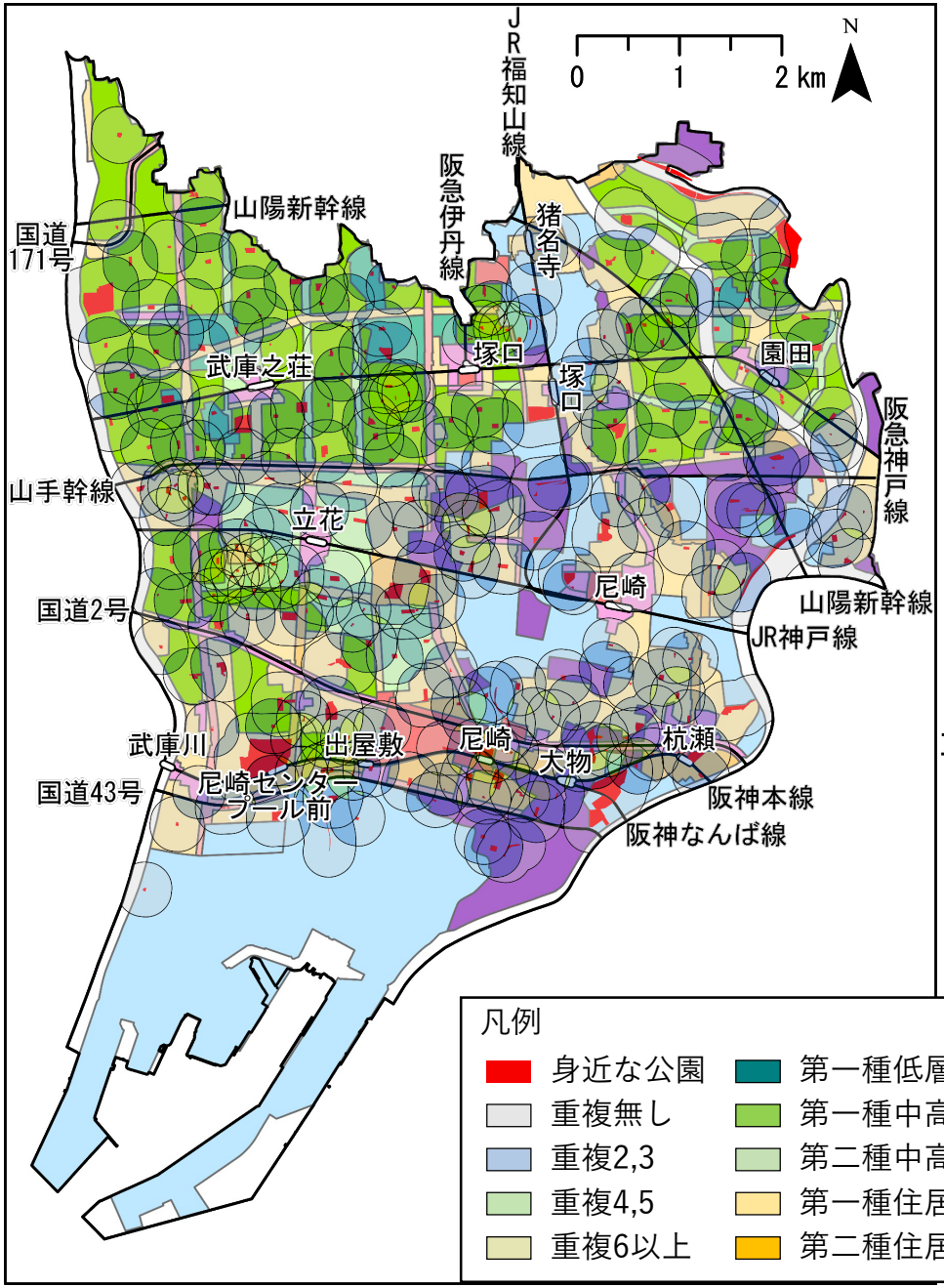


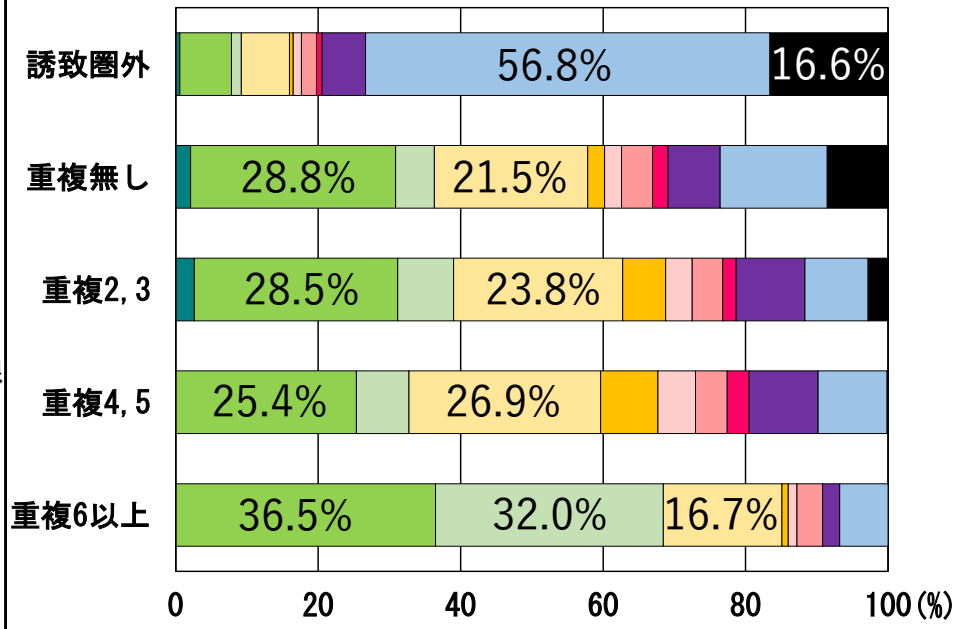
誘致圏と居住状況の関係





誘致圏と居住状況の関係

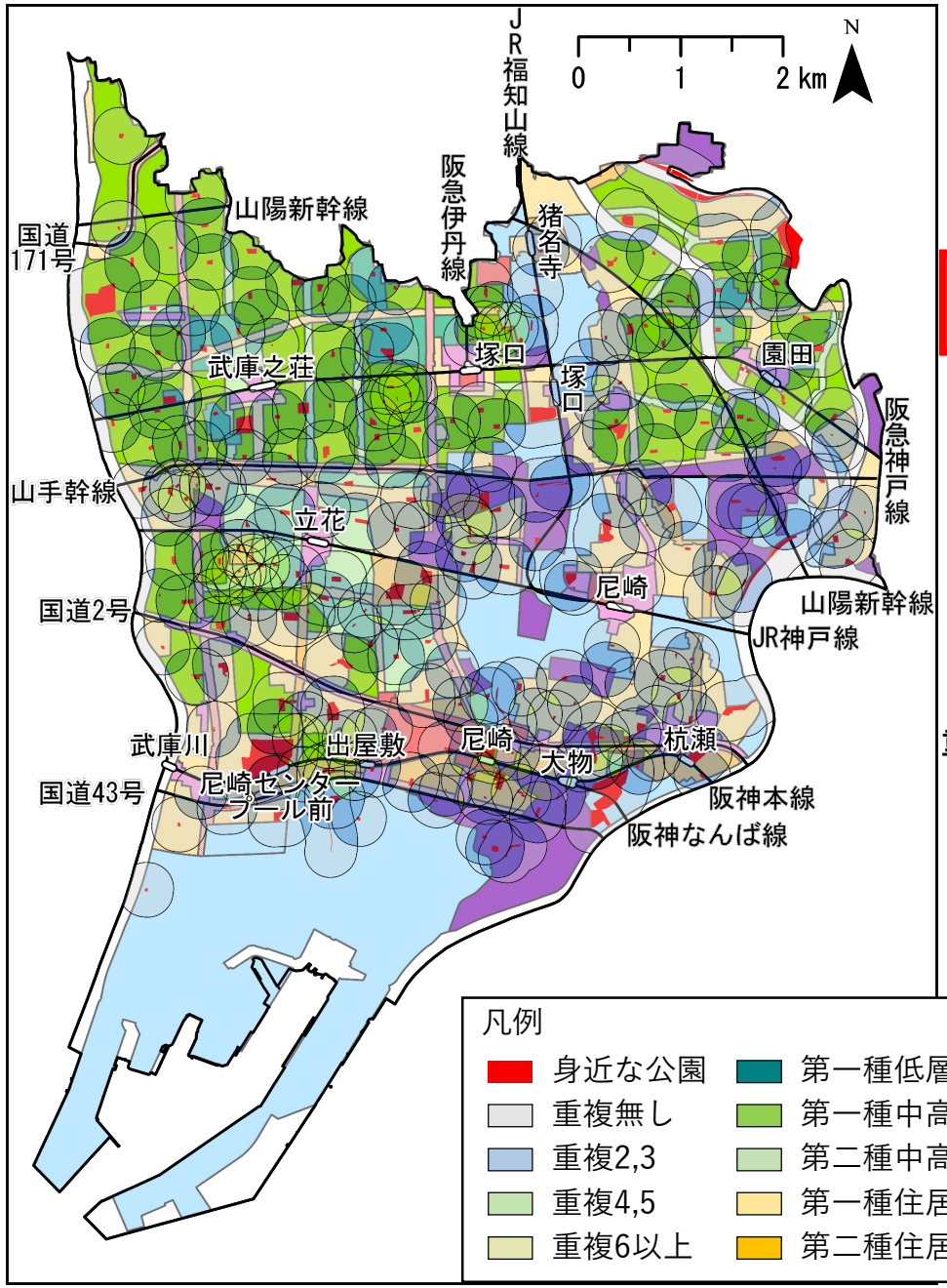


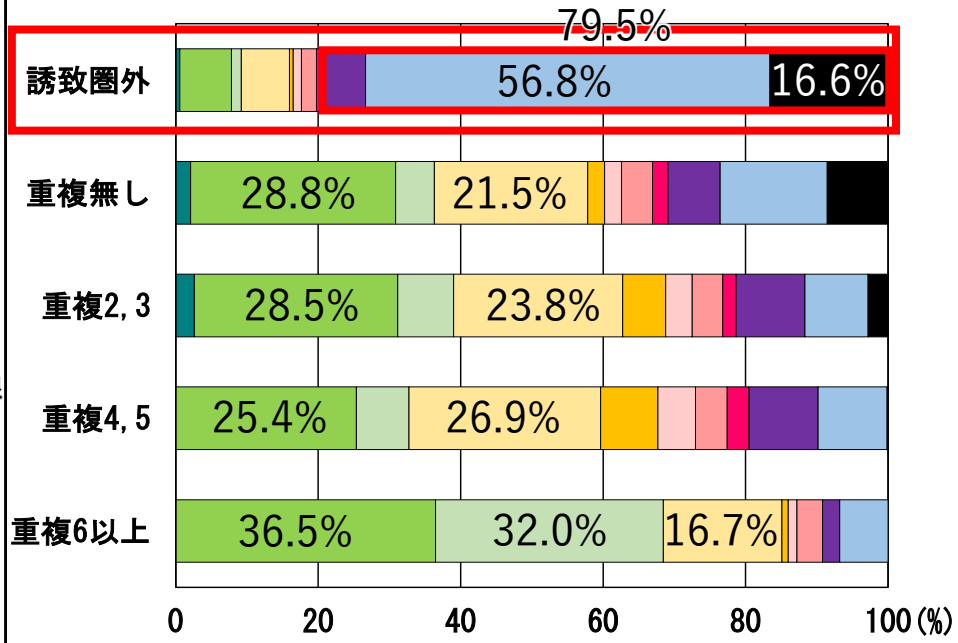


凡例

- 身近な公園
- 重複無し
- 重複2,3
- 重複4,5
- 重複6以上
- 第一種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- その他

誘致圏と居住状況の関係

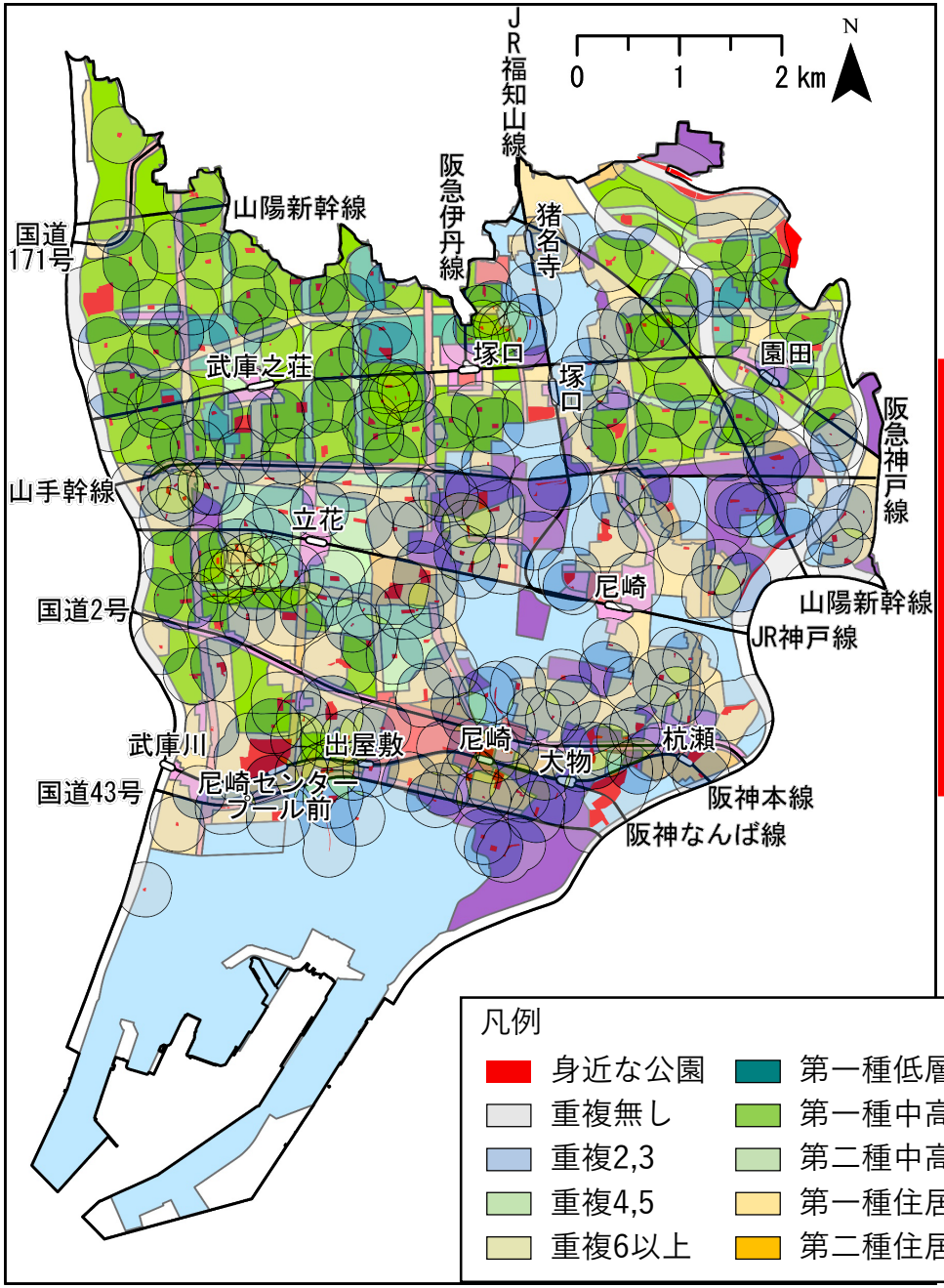


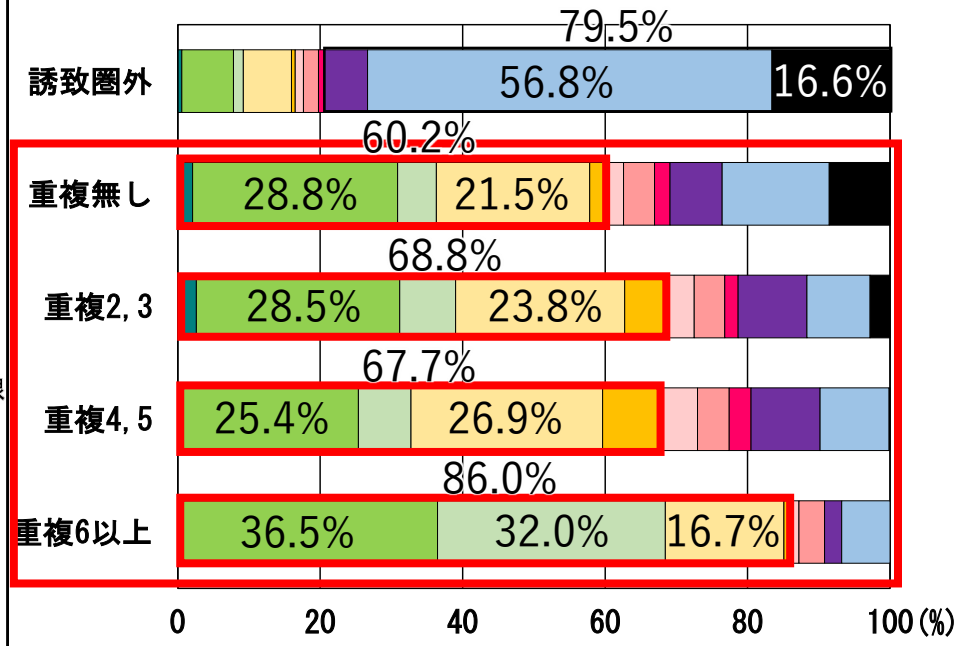


凡例

- 身近な公園
- 重複無し
- 重複2,3
- 重複4,5
- 重複6以上
- 第一種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- その他

誘致圏と居住状況の関係

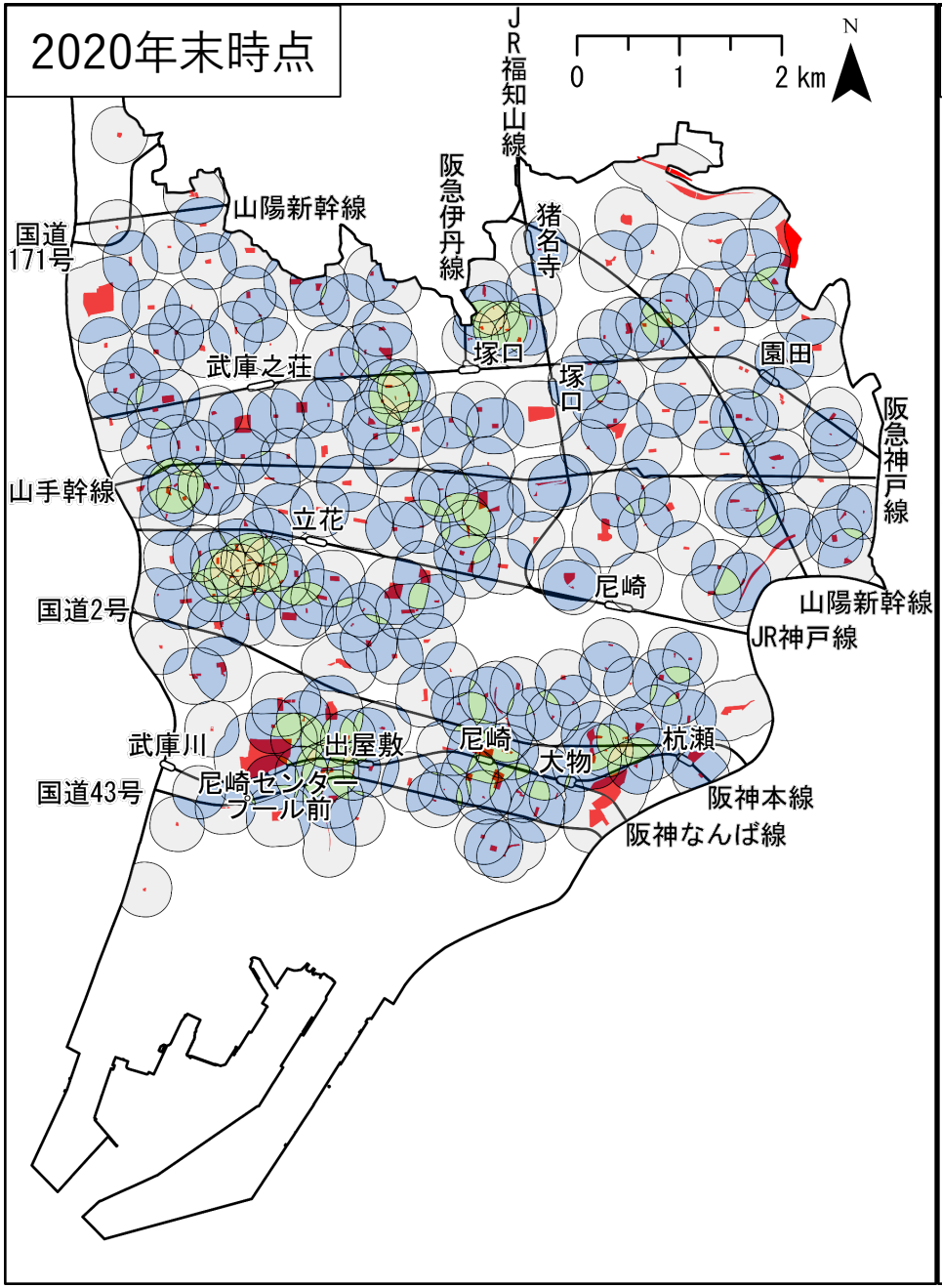


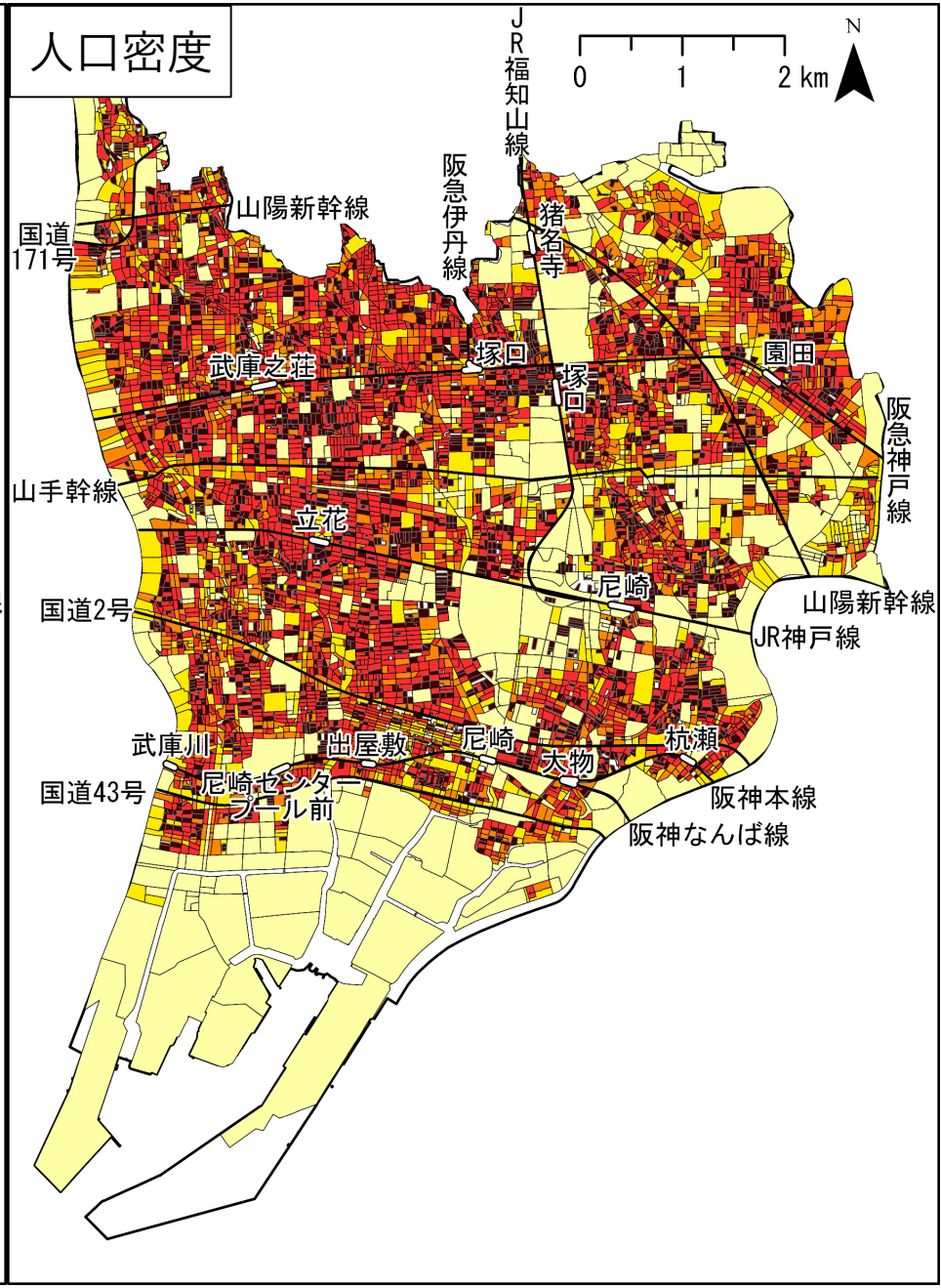


凡例

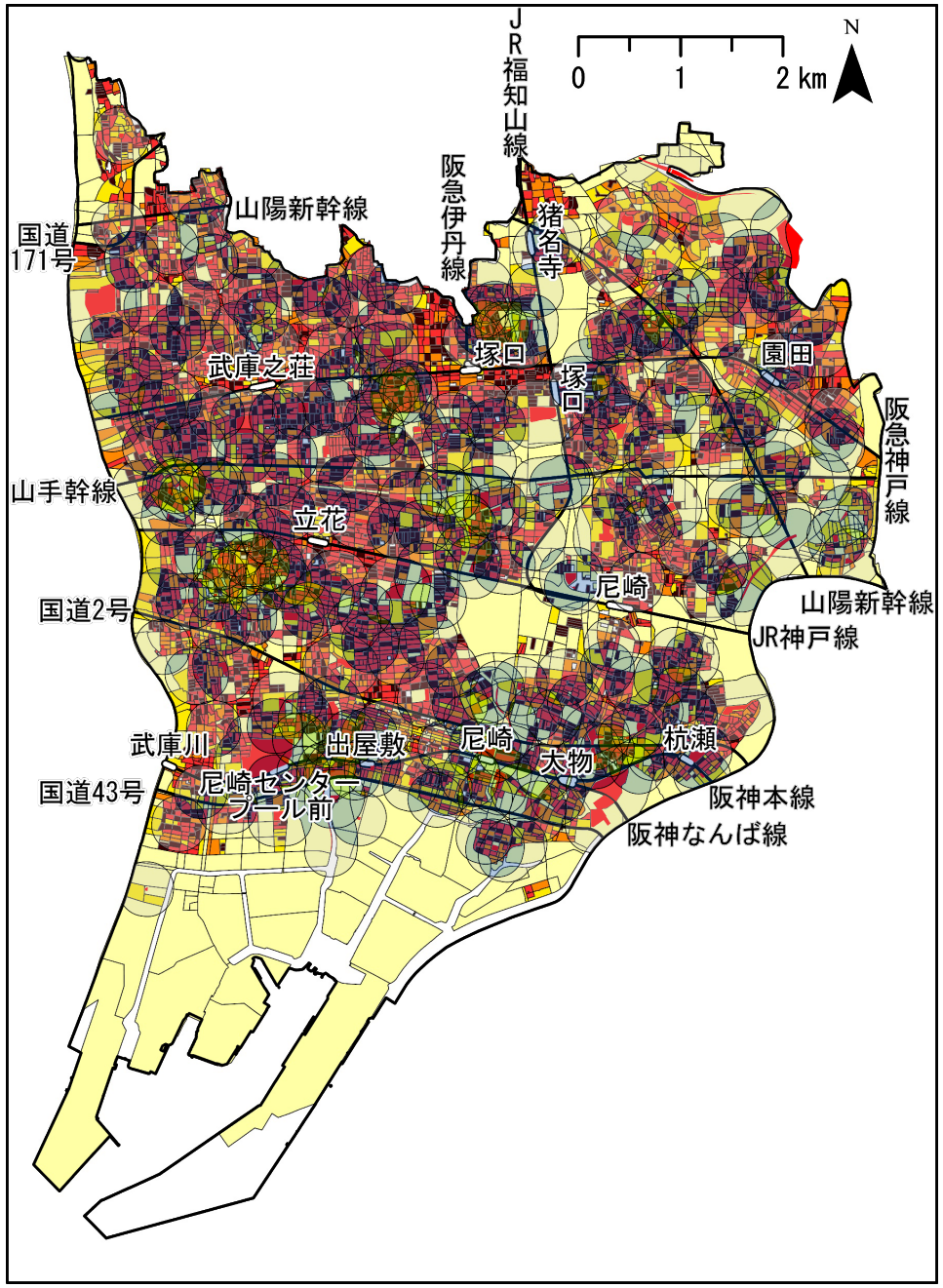
- 身近な公園
- 重複無し
- 重複2,3
- 重複4,5
- 重複6以上
- 第一種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- その他

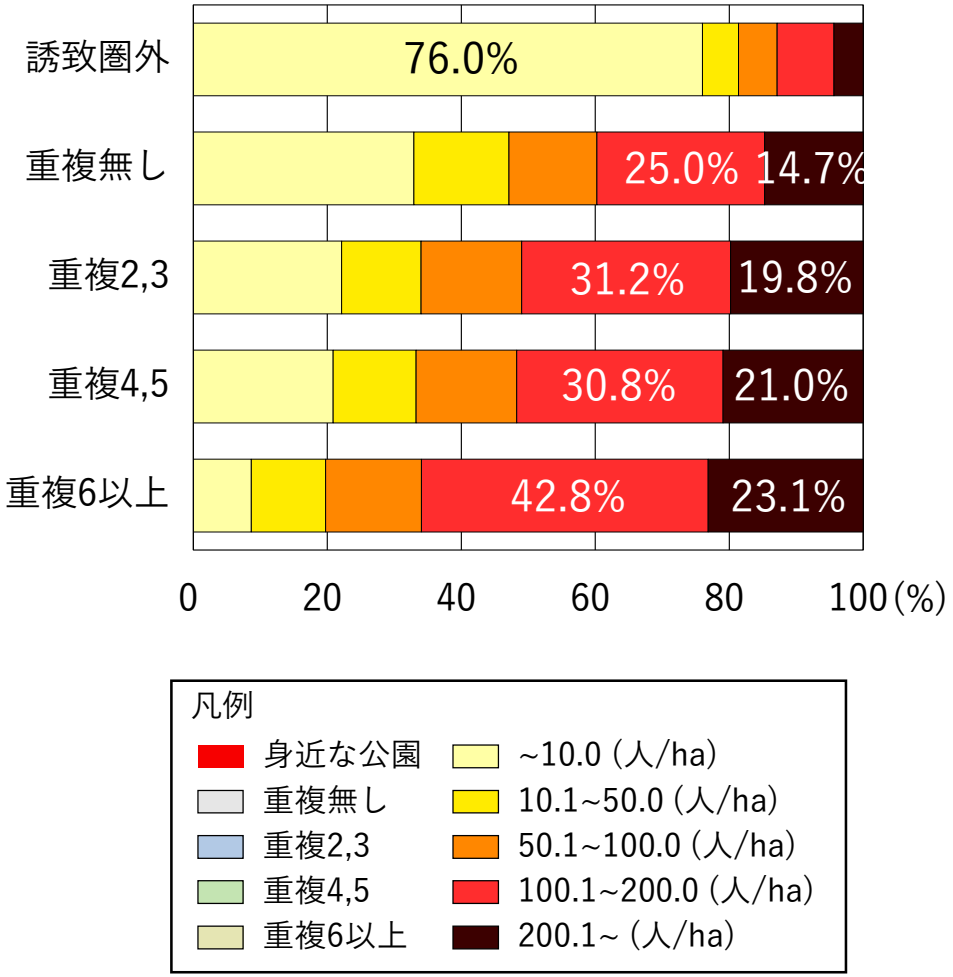
誘致圏と居住状況の関係



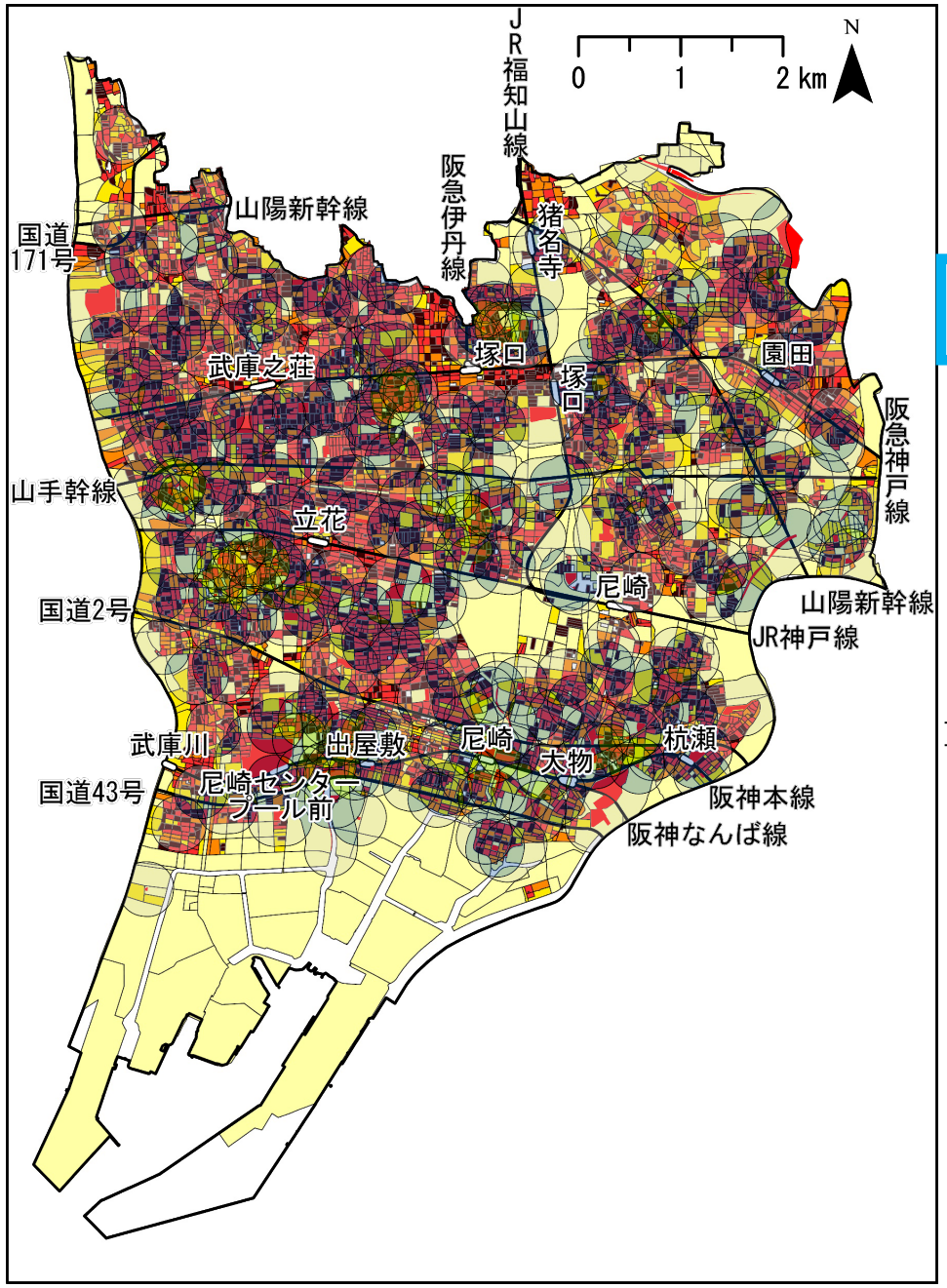


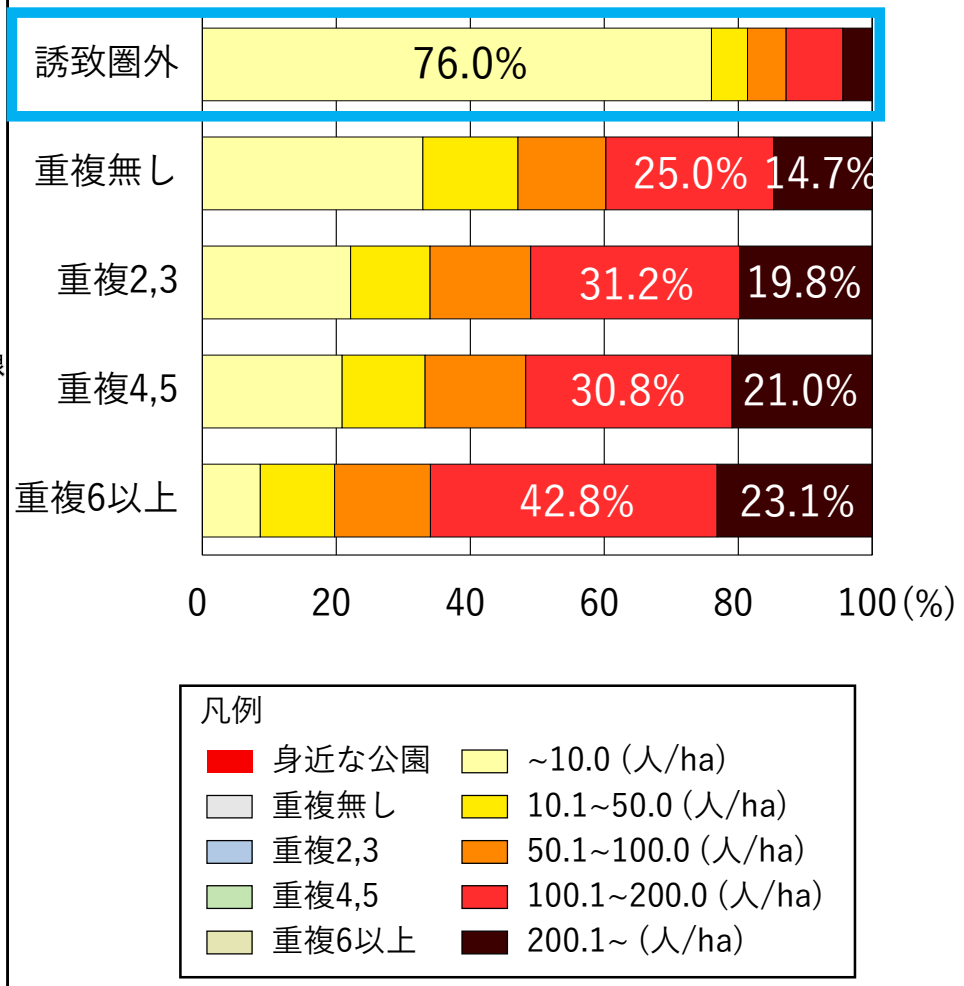
誘致圏と居住状況の関係



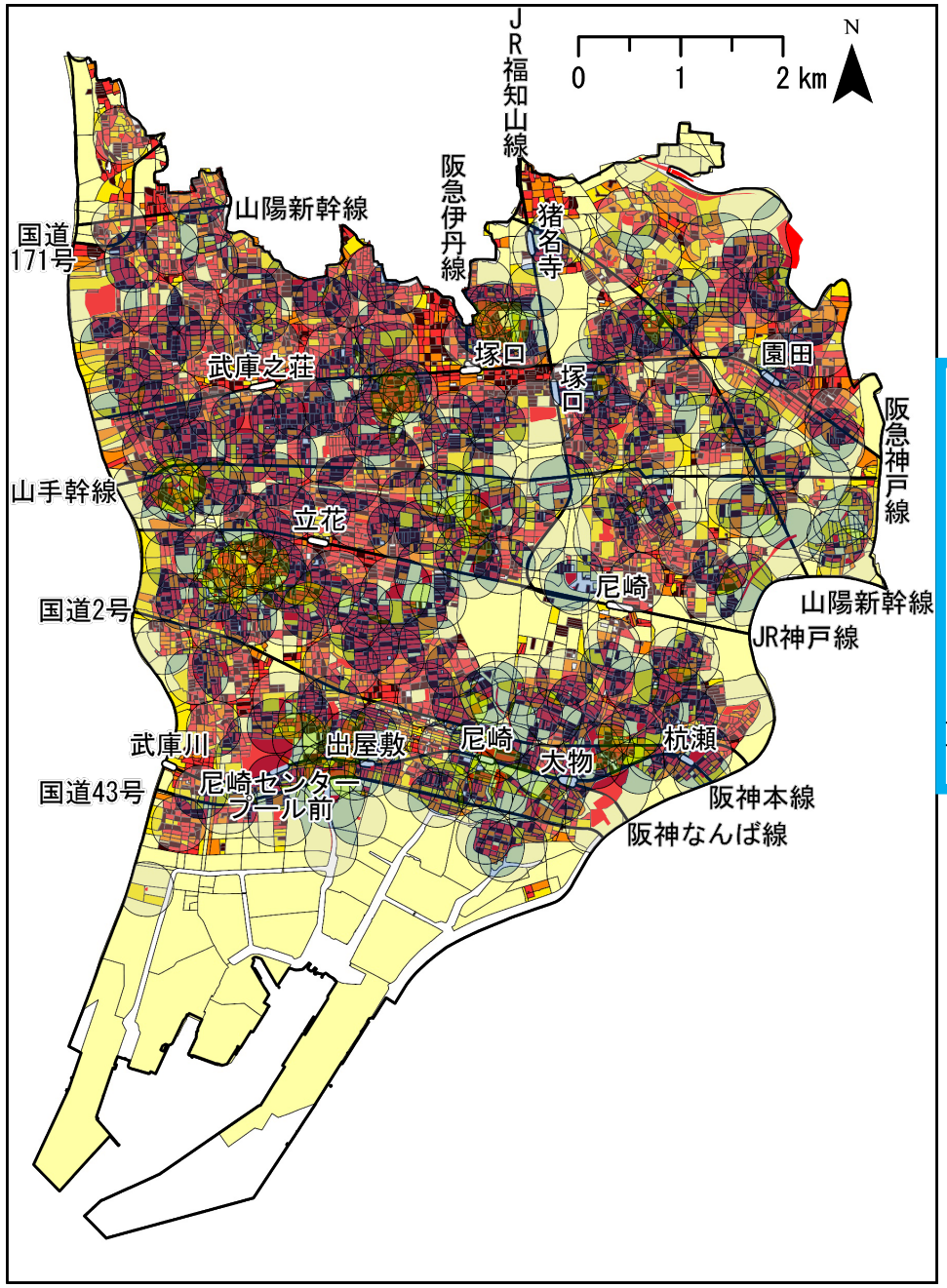


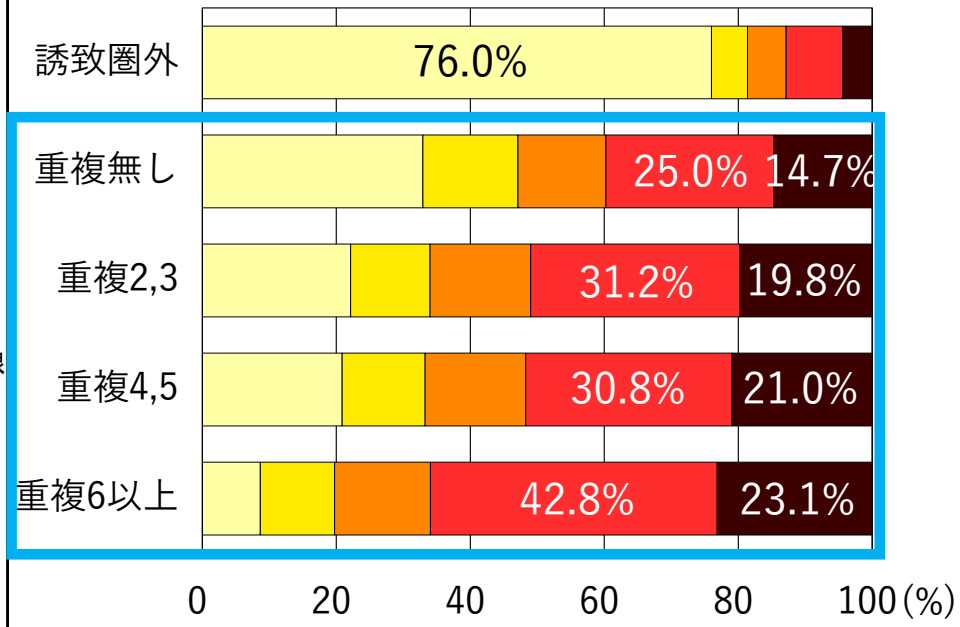
誘致圏と居住状況の関係





誘致圏と居住状況の関係

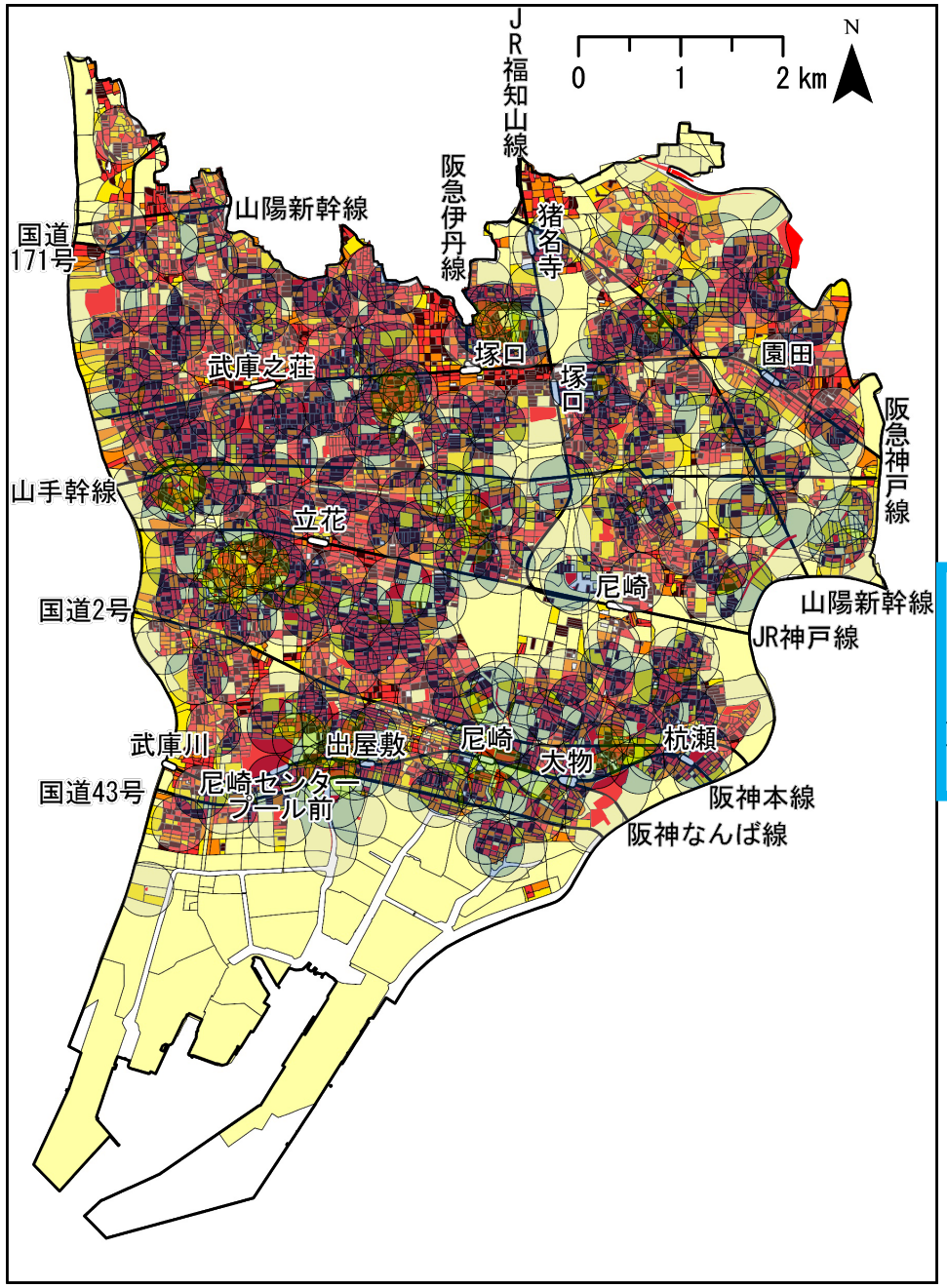


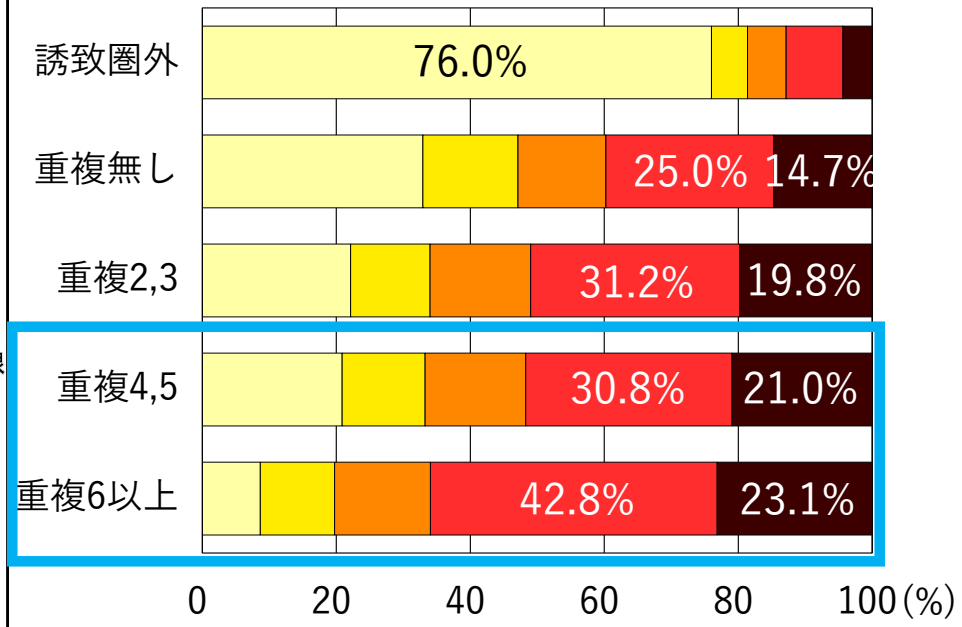


凡例

身近な公園	~10.0 (人/ha)
重複無し	10.1~50.0 (人/ha)
重複2,3	50.1~100.0 (人/ha)
重複4,5	100.1~200.0 (人/ha)
重複6以上	200.1~ (人/ha)

誘致圏と居住状況の関係

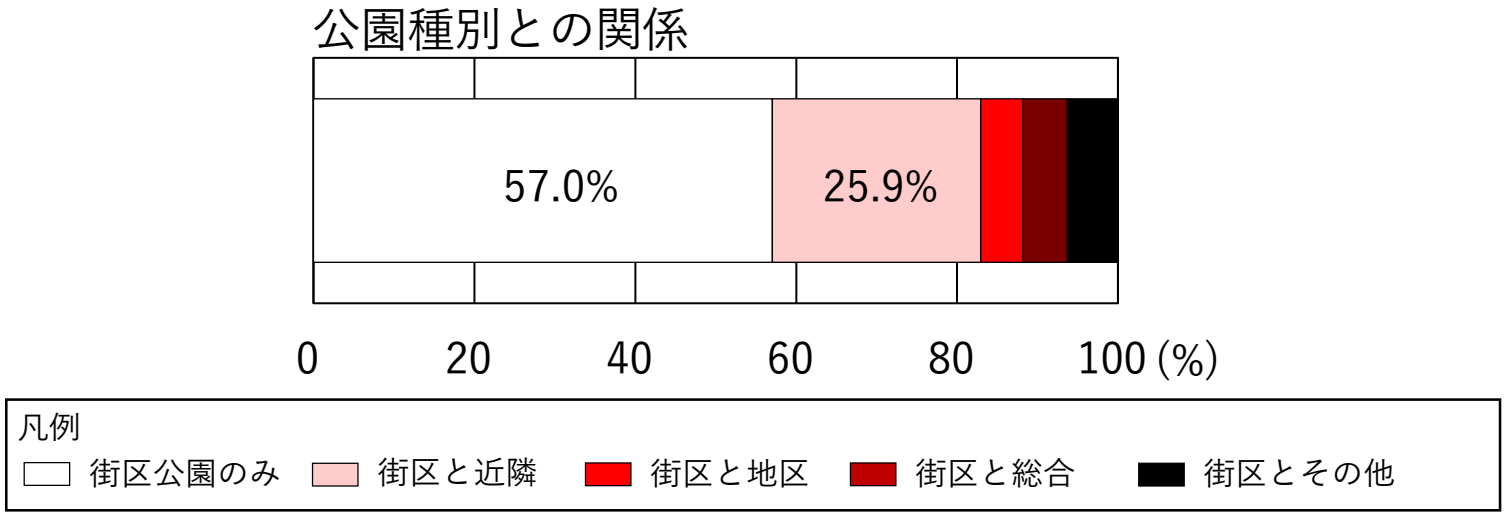


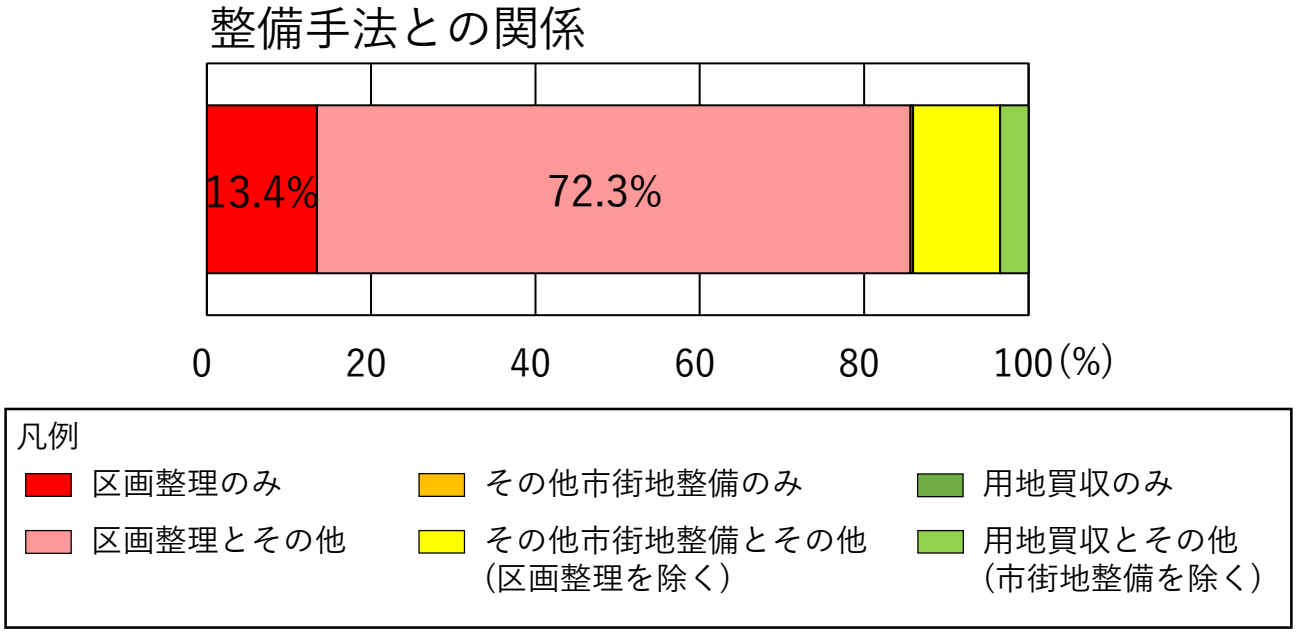


凡例

身近な公園	~10.0 (人/ha)
重複無し	10.1~50.0 (人/ha)
重複2,3	50.1~100.0 (人/ha)
重複4,5	100.1~200.0 (人/ha)
重複6以上	200.1~ (人/ha)

誘致圏の重複4以上の地域での公園種別・整備手法





誘致圏とアクセシビリティの関係

直線距離

始点：公園の縁

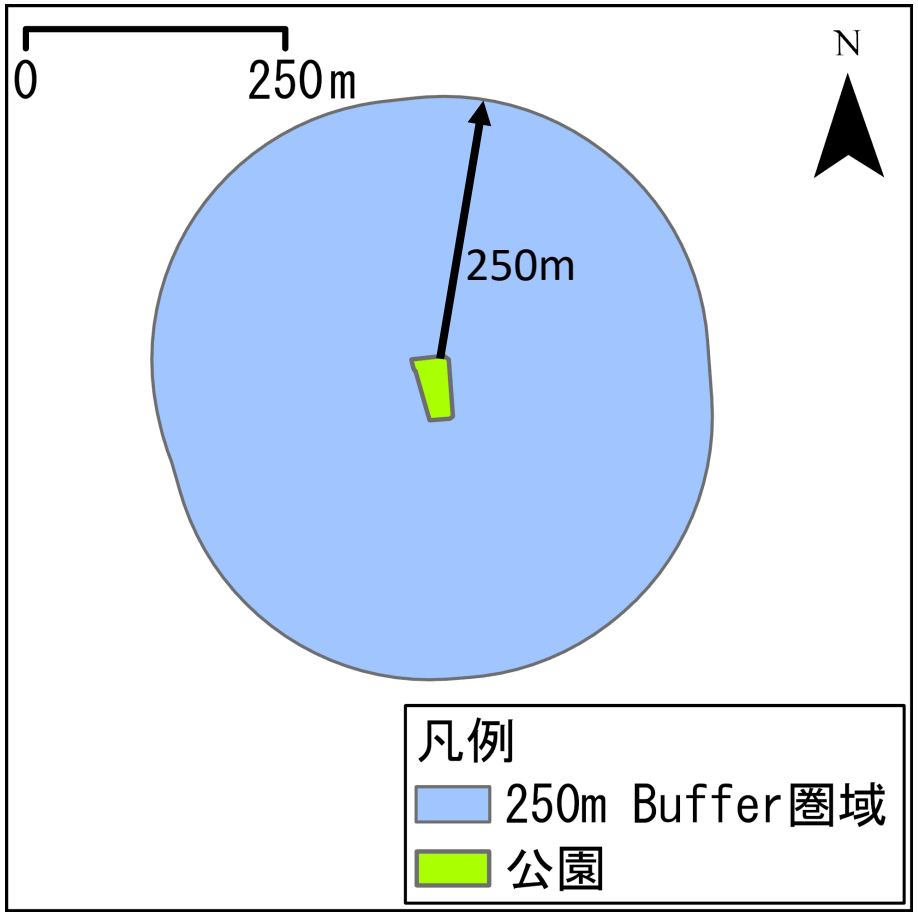
距離：直線で250m

実距離(道路距離)

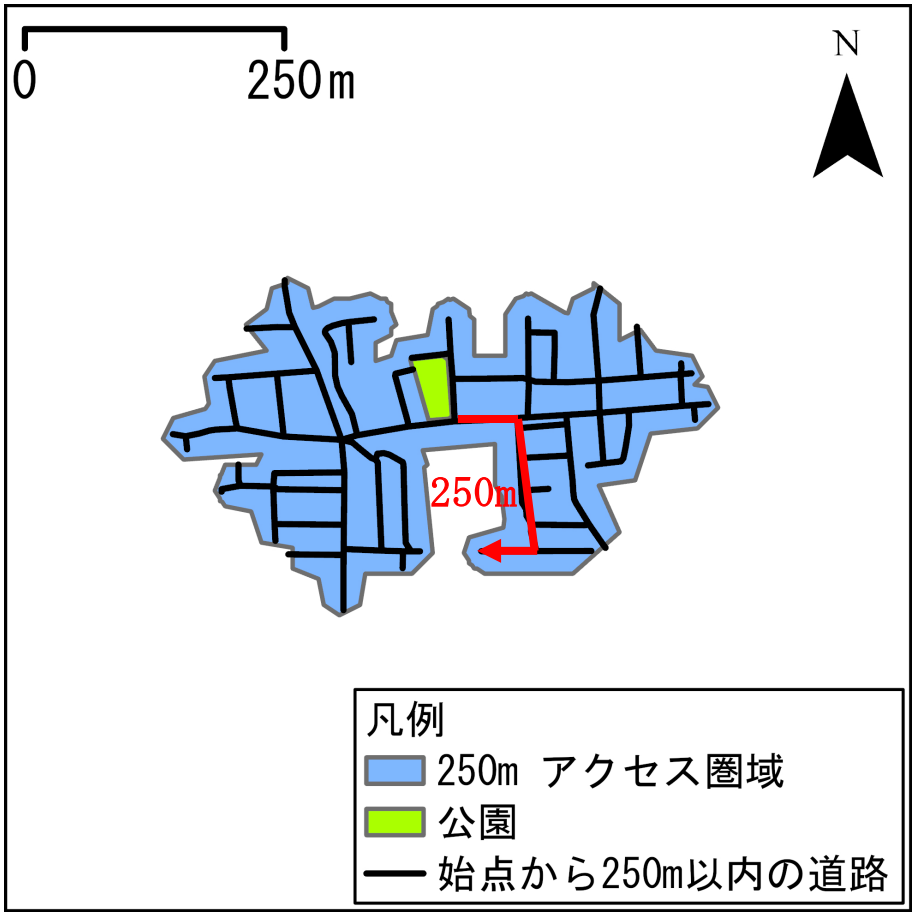
始点：公園に面する道路の中心線上

距離：道路に沿って250m

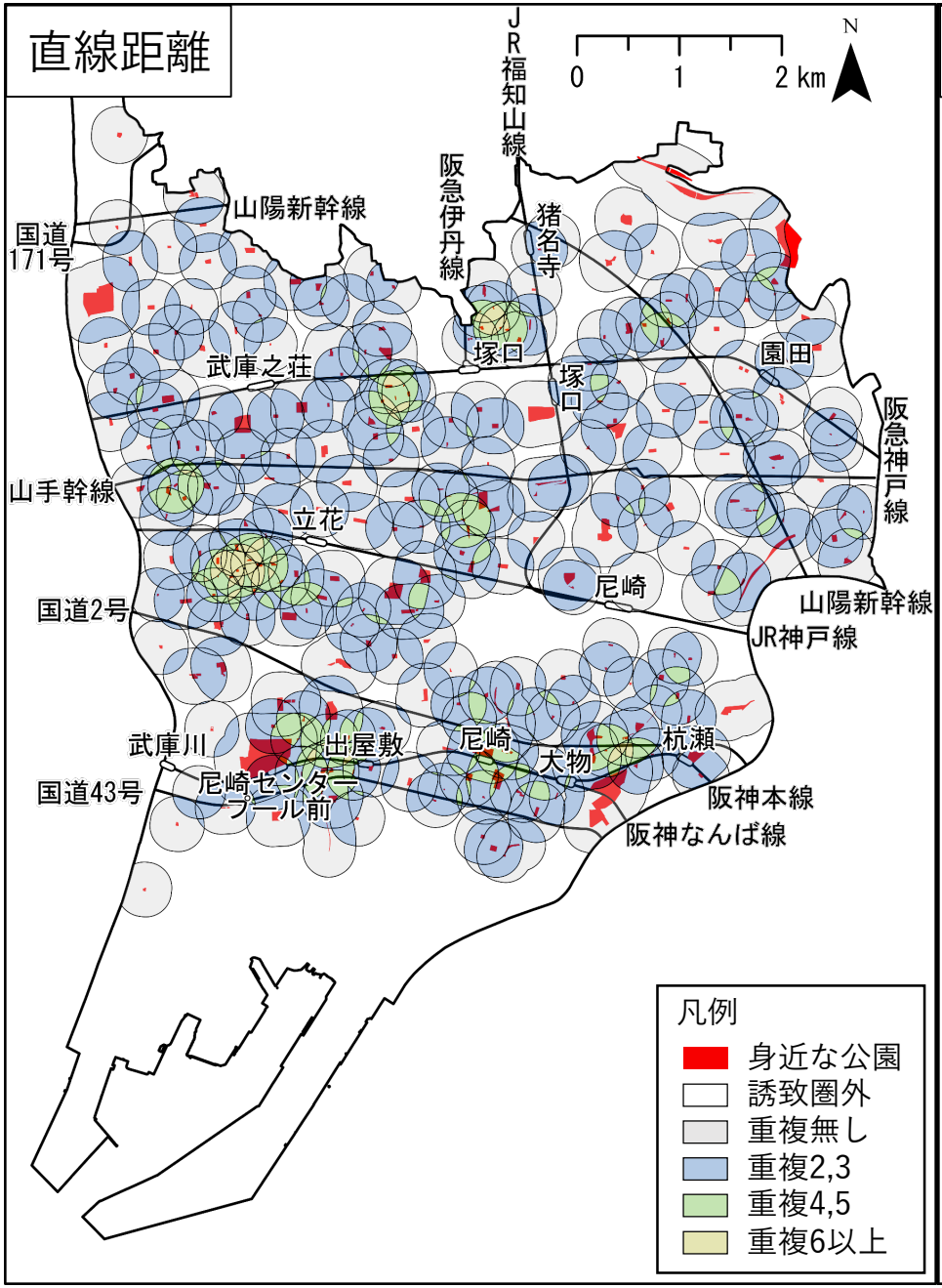
Buffer解析

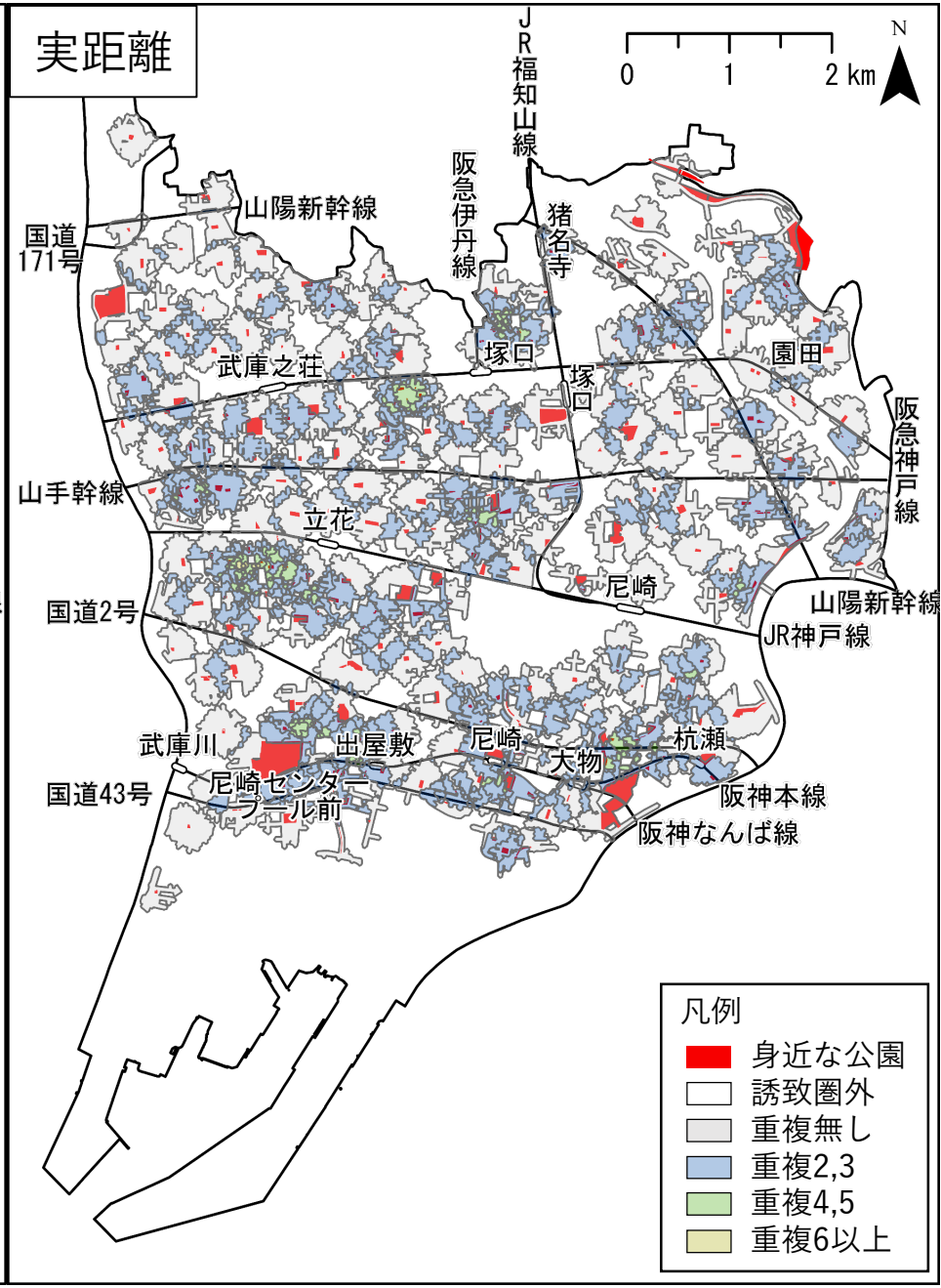


Network解析

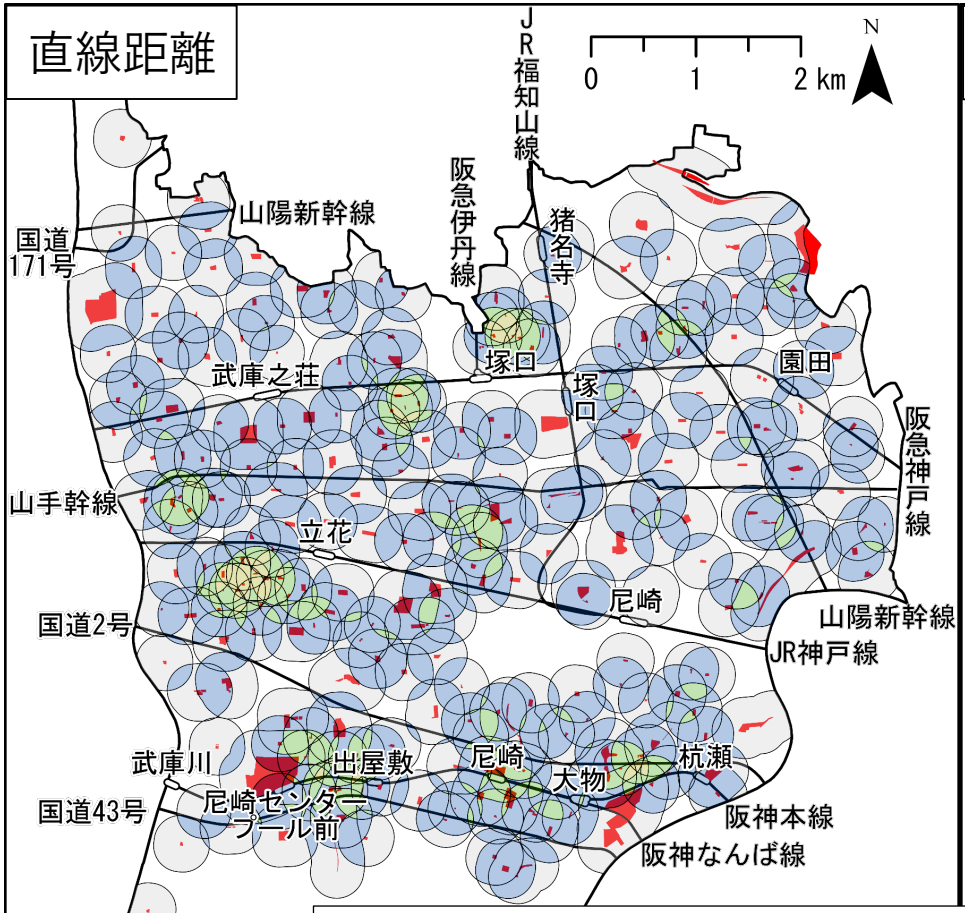


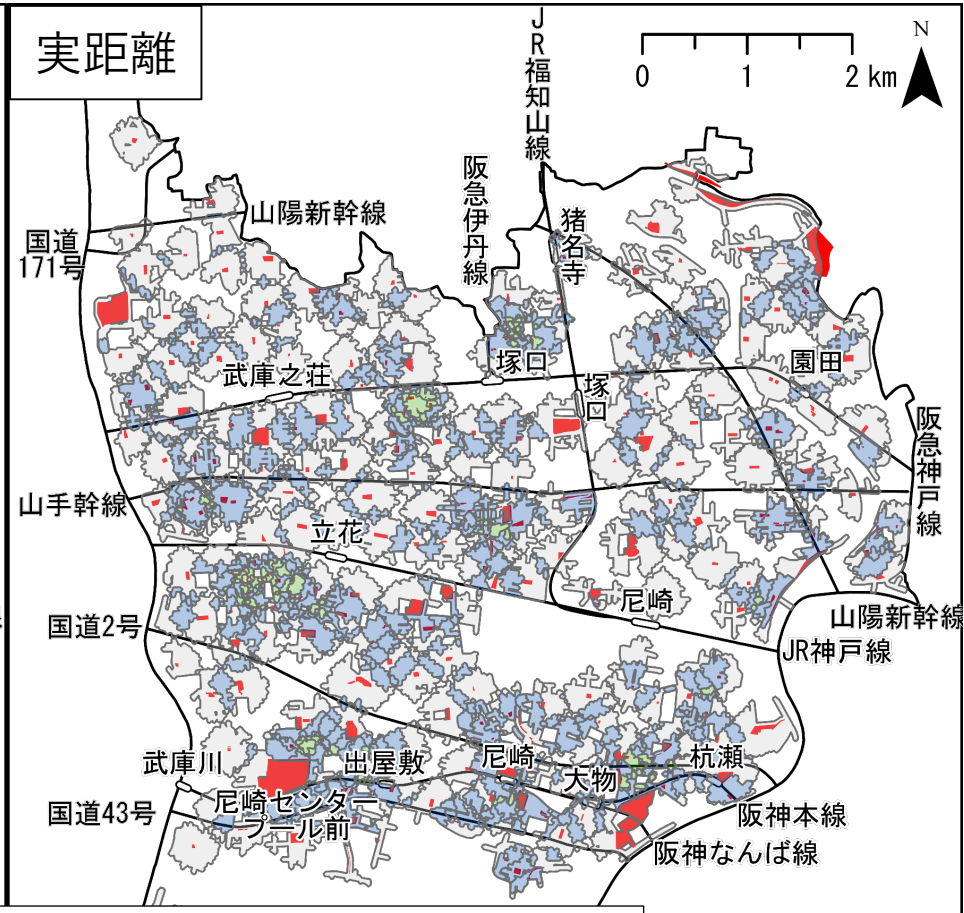
誘致圏とアクセシビリティの関係

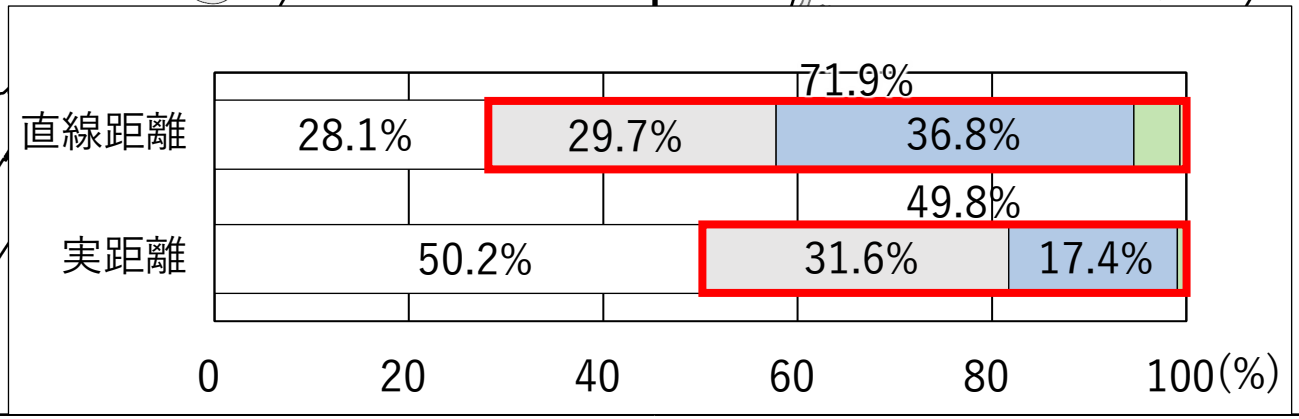




誘致圏とアクセシビリティの関係

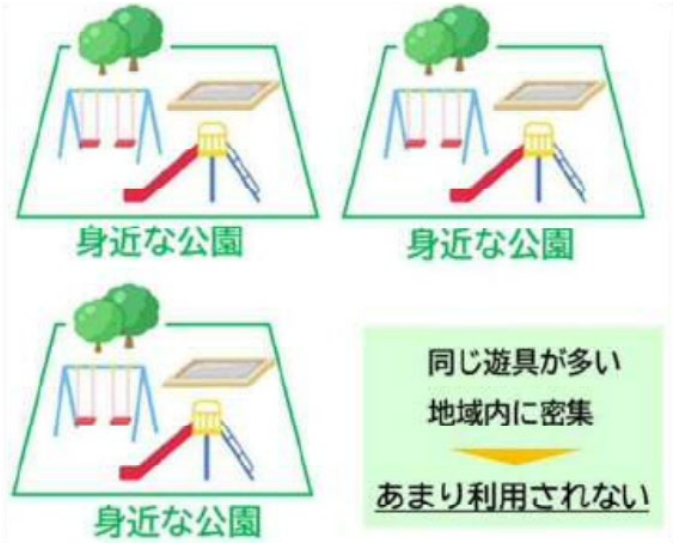






誘致圏と利用機能の関係

現状



これから

(仮称)尼崎市みどりの基本計画(素案)
尼崎市公園緑地分科会　2023-06-27

・遊びの公園
遊具4種以上が設置
滑り台、ブランコ、砂場、ジャングルジム、その他遊具

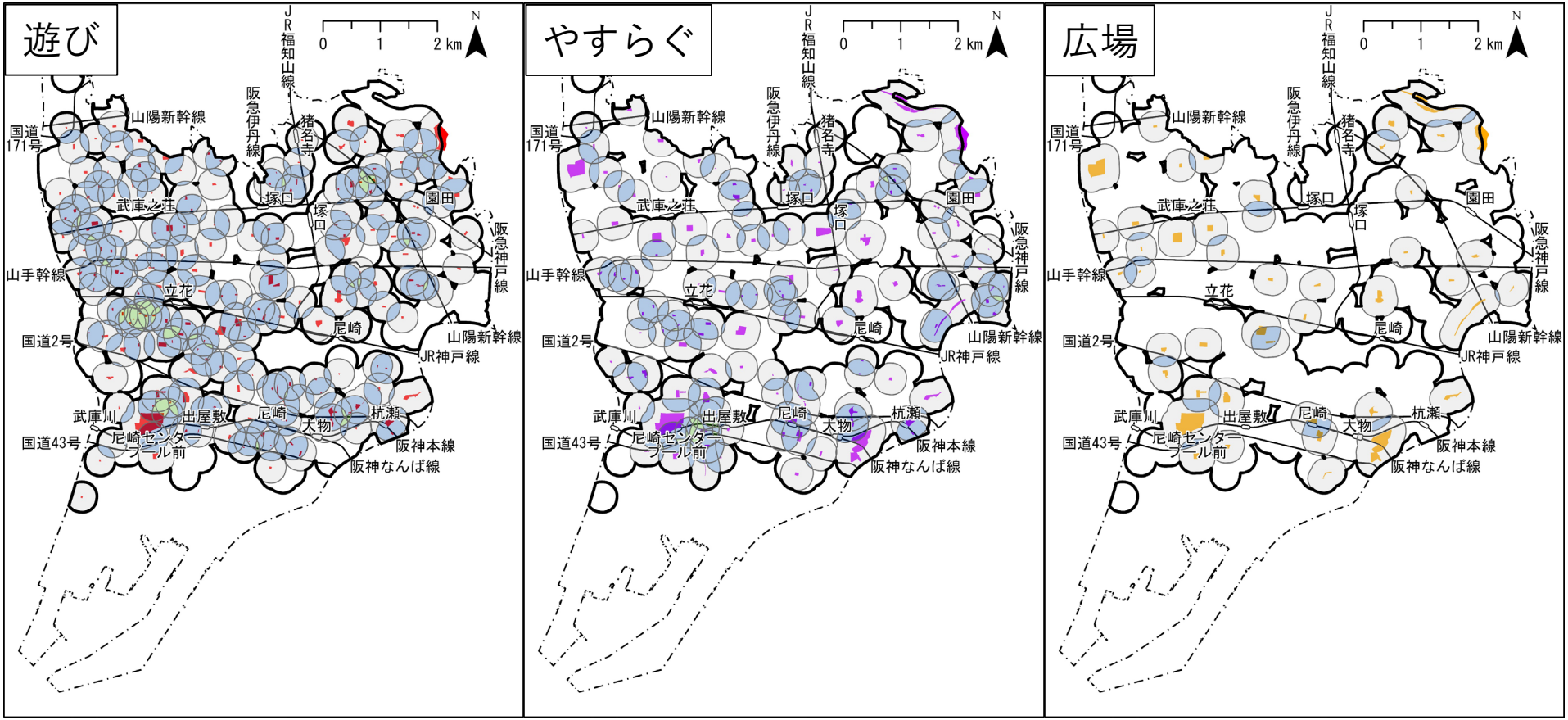
・やすらぐ公園
休養施設3種以上が設置
園路、花、休憩施設、ベンチ、健康遊具

・広場の公園
約1,000m^{2}の広場を有する

現状の機能

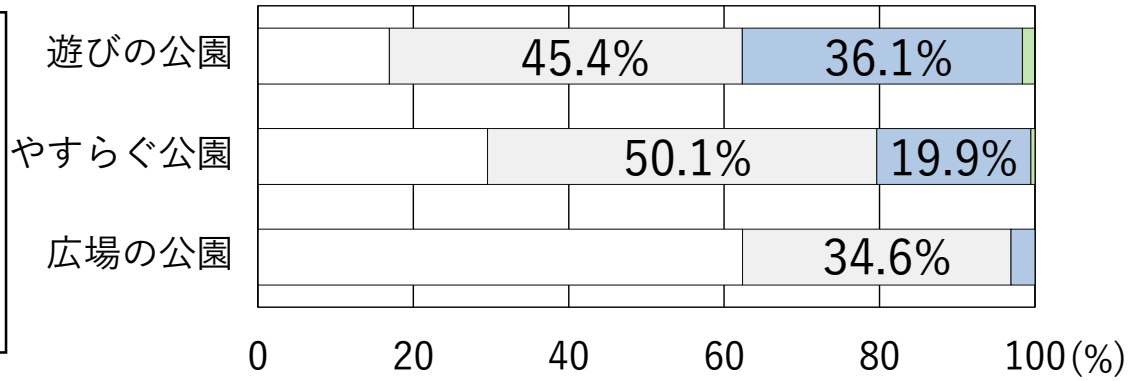
公園種別	遊び(箇所)	やすらぐ(箇所)	広場(箇所)	該当なし(箇所)	全公園(箇所)
街区	170	96	25	26	242
近隣	13	17	12	0	19
地区	3	7	5	0	7
総合	2	3	3	0	3
合計	188	123	45	26	271

誘致圏と利用機能の関係

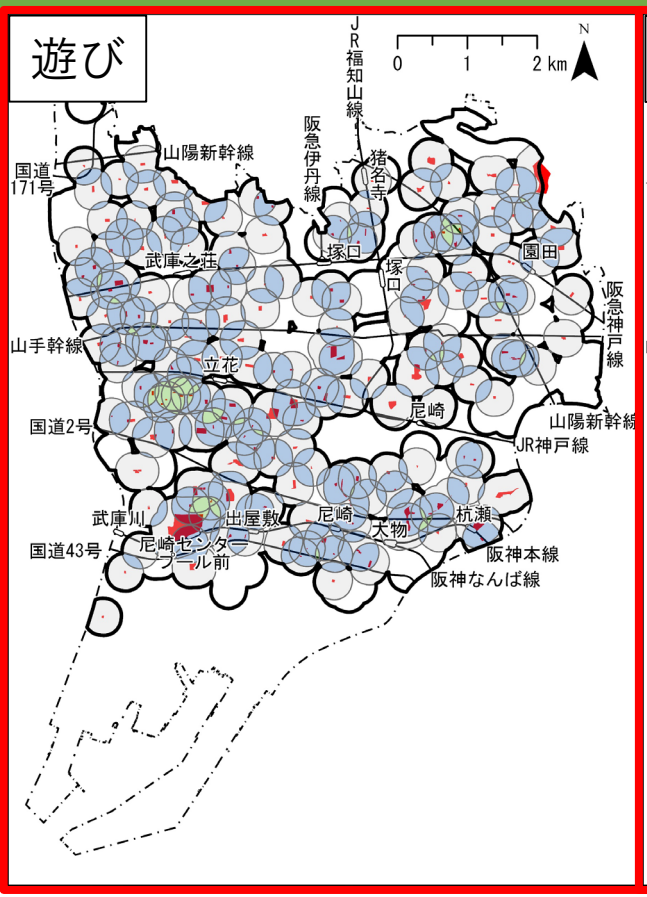


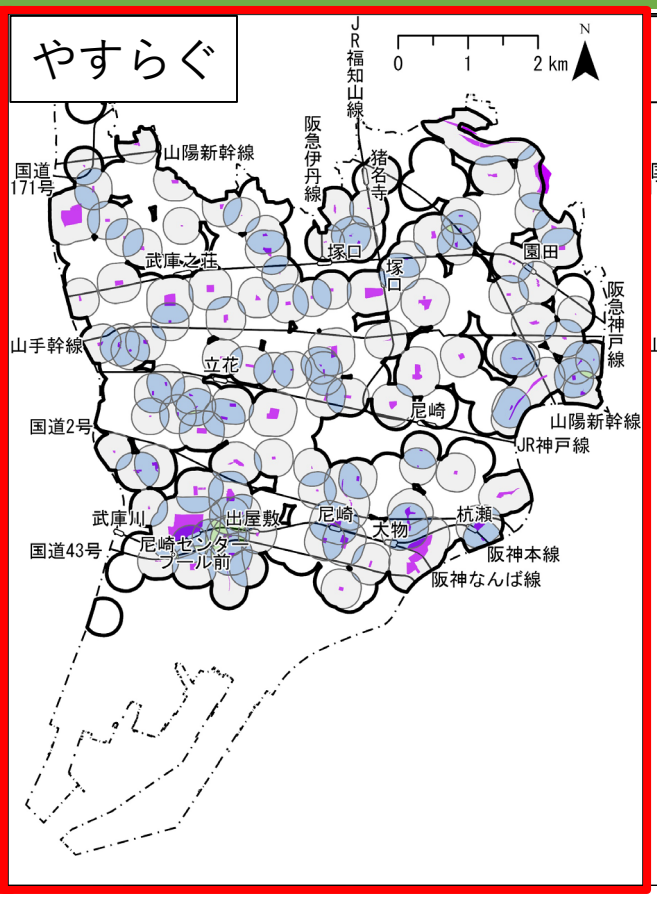
凡例

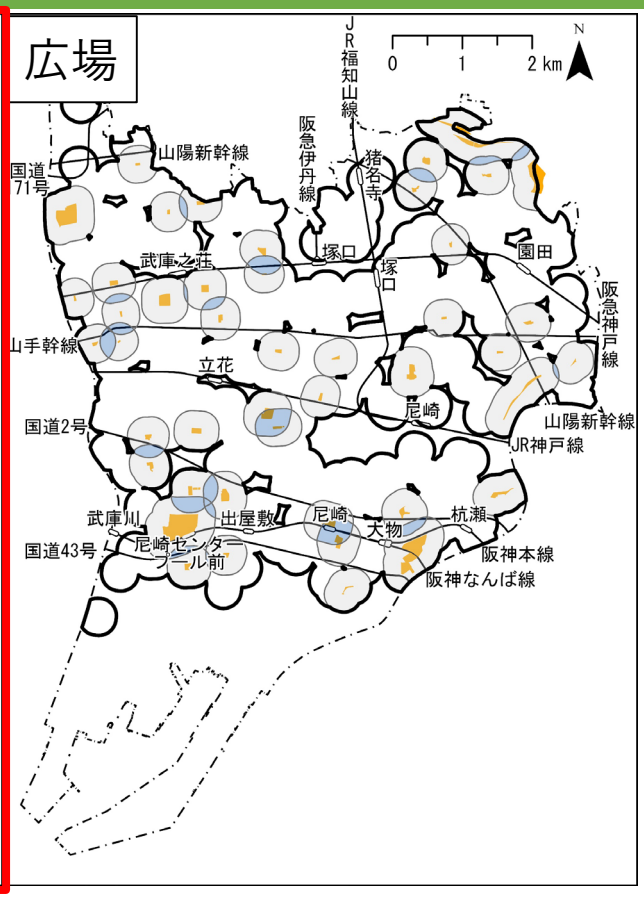
- 遊びの公園
- やすらぐ公園
- 広場の公園
- 身近な公園の誘致圏域
- 重複無し
- 重複2,3
- 重複4,5
- 重複6以上



誘致圏と利用機能の関係

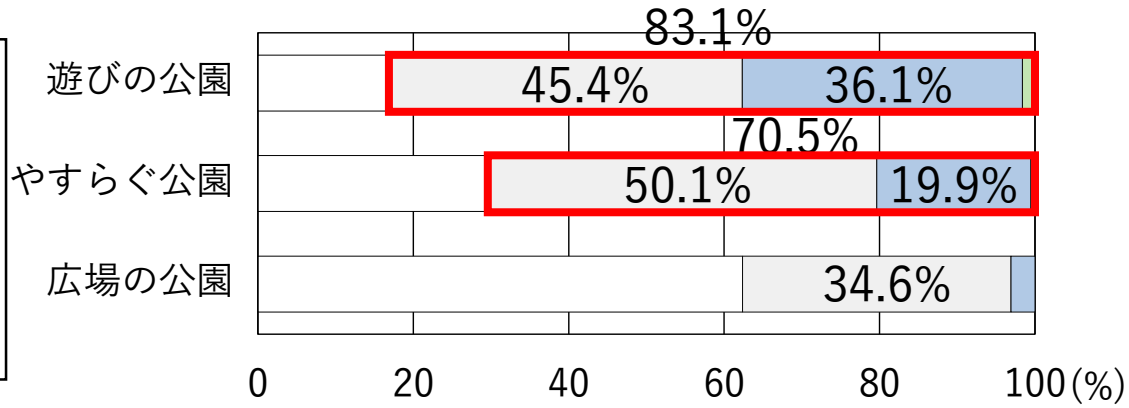




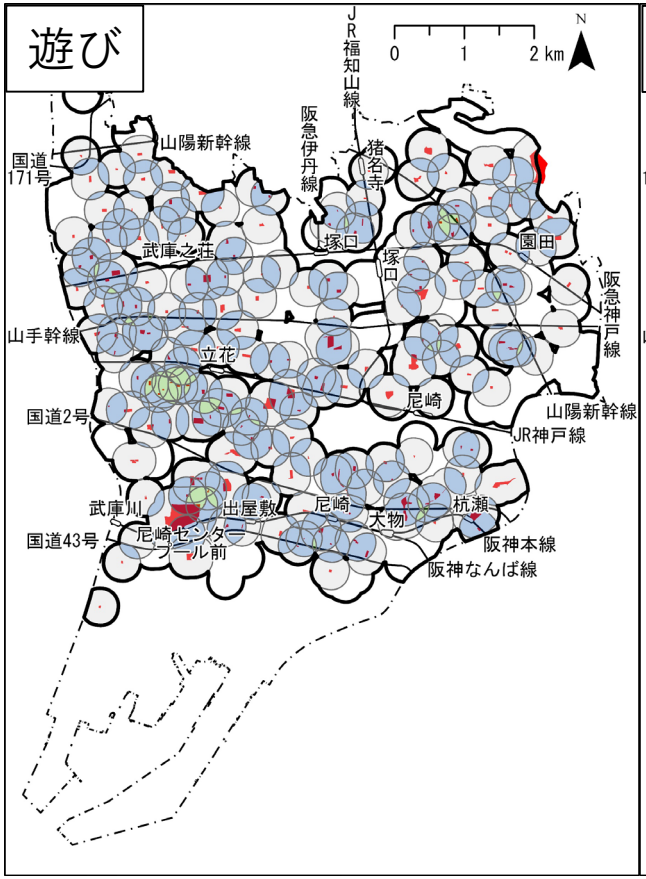


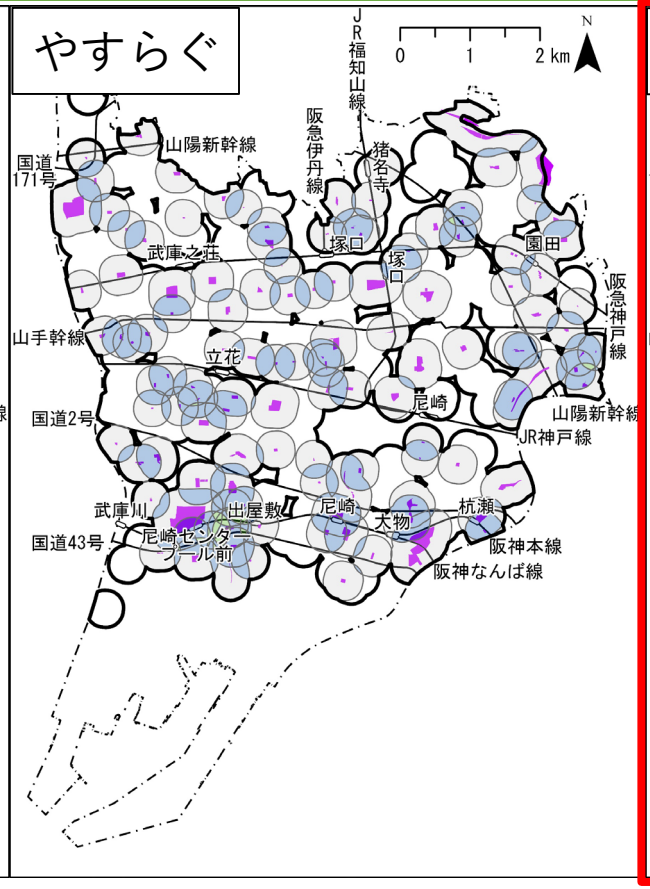
凡例

- 遊びの公園
- やすらぐ公園
- 広場の公園
- 身近な公園の誘致圏域
- 重複無し
- 重複2,3
- 重複4,5
- 重複6以上



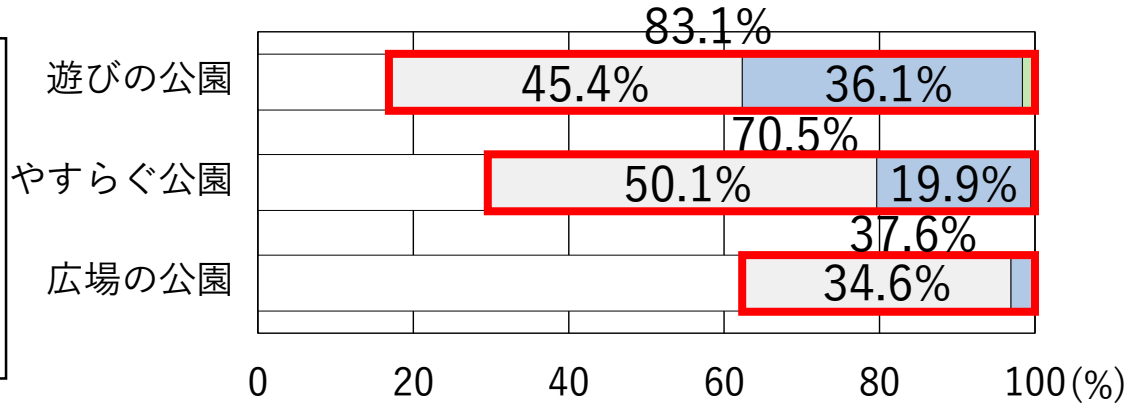
誘致圏と利用機能の関係





凡例

- 遊びの公園
- やすらぐ公園
- 広場の公園
- 身近な公園の誘致圏域
- 重複無し
- 重複2,3
- 重複4,5
- 重複6以上



まとめ

【公園整備の変遷】

- 尼崎市の都市公園は1980 年末までに急増し、 2020 年末時点で 346 箇所・205.2ha が整備されている。
  - 街区公園が 242 箇所と特に多く、規模が小さいものが多い。
  - 区画整理によるものが 172 箇所と多い。
- 一人当たり公園面積は 4.5m^2/人と国が示す市街地の目標水準 5.0m^2/人には達しておらず、今後は、規模の大きい公園への再編が望まれるが、区画整理による公園整備には限界があると考えられる。

【公園立地の到達点と課題】

- 誘致圏の重複 4 以上の地域では「区画整理とその他の市街地整備」によって街区公園が集中して整備された。

  ➡異なる事業間で公園整備の計画や目標を共有することで規模や配置を検討することが課題である。

【有効な再編の方向性】

- 誘致距離を用いた配置計画では実際のアクセシビリティに基づく検討を行うこと。
- 重複している遊びややすらぎの機能を広場に転換していくこと。